

CZ  
5  
0155

現行令達要覽

明治二十七年五月編纂

(非賣)

札幌外九郡役所  
第一課

030971-000-2

CZ-5-0155

現行令達要覽

札幌外九郡役所

M27

BBC-0362





現行令達要覽

凡例

- 一 本書ハ戸長執務上参考ノ資ニ供スル爲メ明治二十七年二月現行ニ係ル當廳訓示、達及各課ノ通達、通牒中平常展々處務上参照ヲ要スルモノヲ纂輯シテ現行令達要覽ト云フ
- 一 當廳ノ令達ニ屬セサルモノト雖モ相俟ツテ参照ヲ要スルモノハ之ヲ採録シテ檢討ニ便ニス
- 一 改正加除ニ係ル條項字句ハ現行ニ依リ修正ヲ加ヘ且ツ參考トシテ往々其要領ヲ該令達ノ欄外又ハ末尾ニ附記ス
- 一 附録ニ戸籍願届書式ヲ掲ケタルモノハ各戸長役場ヲシテ可成戸籍上區々ノ取扱ナカシメンガ爲メ之レガ參案ニ供スルニ在リ

明治二十七年五月

札幌外九郡役所

第一課







- 告示諭告報告 十四丁
- 學校病院職員辭令其他發送方 全丁
- 私訴提起又ハ民事訴訟ノ場合心得方 十五丁
- 寄附者賞與上申方 全丁
- 總代人改撰報告方 十六丁
- 町村費怠納者財産差押命令書上請方 十七丁
- 戸長以下服務表報告方 十八丁
- 土地ニ賦課スル町村費ノ制限ニ付解釋 十九丁
- 伺上申、照會等ヲ一紙ニ二件列記ス可ラズ 二十丁
- 伺上申等字体端正ヲ要ス 全丁
- 御影並勅語際本奉衛方 全丁
- 御紋章ヲ帷幕等ニ附スルヲ得ス 全丁
- 町村立小學校經費報告 二十二丁
- 簡易小學校授業時間ヲ定メ且ツ補修科ヲ設ケシム 二十五丁
- 御影並勅語際本奉衛方ニ付注意 全丁
- 教員任用ト免許狀下付申請トハ各別ニ其狀方 全丁
- 兵事上取扱方 全丁
- 陸軍召集旅費仕拂命令官 二十七丁
- 徵兵寄留地應徵者ノ件 全丁

- 海軍々人結婚條例ニ就テ 二十七丁
- 兵事關係者轉住ノ際注意方 全丁
- 戸長役場現金取扱ニ關スル準則 二十八丁
- 町村費及町村有財産取扱心得 三十二丁
- 戸籍(社寺、衛生、恩給、賑恤ヲ包含)ノ部
- 社寺境内區域變更ノ場合心得方 三十七丁
- 傳染病報告方注意 三十八丁
- 醫師及藥劑師試驗願ノ際注意方 全丁
- 恩給出願中轉籍等ノ節届出方 三十九丁
- 社寺總代人撰舉届書ニ神官住職連署方 全丁
- 神官撰舉注意方 四十丁
- 行旅病人死亡人取扱方注意 四十一丁
- 賣藥検査願ニ現品ヲ添付ニ及ハス 全丁
- 賣藥請賣行商者販賣藥品期限 全丁
- 施療藥價請求書記載方 四十二丁
- 醫術開業試驗出願者次回ハ延期願取扱方 全丁
- 地理、森林ノ部
- 官有地特別處分其他ノ爲メ評價委員常設方 全丁
- 森林處務及検査手續 四十三丁



◎ 森林諸帳簿式	四十七丁
◎ 森林指令用紙受拂方	四十九丁
◎ 雜產物數量單位名稱及胡桃樹拂下手續	全丁
◎ 營工用ノ外拂下ヲ許サ、ル木種	五十一丁
◎ 林產物特賣 <small>(受買業ノ爲メ)</small> ニ際シ委任狀等ヲ要スル場合	全丁
◎ 森林事務處分上經伺ヲ要スル場合	全丁
◎ 林產物拂下ニ附帶スル官林地貸付料其他價格	五十二丁
◎ 特賣定價表外ノ木種價格標準	五十三丁
◎ 森林ニ關スル指令用紙、鑑札受拂報告	全丁
◎ 官林被害ノ情況報告	五十四丁
◎ 森林ニ係ル犯罪告發後報告	五十五丁
◎ 森林事務取扱上注意方	全丁
◎ 官林盜伐被害報告	五十六丁
◎ 森林事務ニシテ經伺ヲ要スル事項中刪除ニ付心得方	五十八丁
◎ 樹木名稱假字使用方	全丁
◎ 林產物拂下指令用紙書損々傷等ノ場合	六十三丁
◎ 白楊樹拂下制限	全丁
◎ 歲入係ノ部 <small>(森林收入ヲ包含ス)</small>	全丁
◎ 收入官吏ノ取扱ニ係ル送金方	全丁

◎ 諸營業願處分手續	六十三丁
◎ 森林收入取扱方	六十四丁
◎ 賦金調定取扱方	六十五丁
◎ 税外諸收入金拂込ノ件	全丁
◎ 調定元帳其他取扱方	全丁
◎ 罰金科料收入取扱方	六十六丁
◎ 森林收入取扱方	全丁
◎ 税外諸收入金拂込方	六十七丁
◎ 酒造検査報告方	全丁
◎ 民有地登記通知方ノ件	六十八丁
◎ 地目變換ハ地主ノ自由ニ任ス	全丁
◎ 酒造營業出願者身元擔保ノ件	全丁
◎ 郡村宅地其他反別ニテ記載方ノ件	六十九丁
◎ 免稅木札製造方	全丁
◎ 租稅検査監査員巡回	全丁
◎ 酒造營業人保証人立方	全丁
◎ 酒造検査ニ關スル諸報告	七十丁
◎ 附錄	全丁
◎ 戶籍諸願屆書式	自一丁至二十丁



# 現行令達要覽

## 戸長職務及分任條件ノ部

### ◎戸長職務概目

○明治十二年七月開拓使第十四號<sup>本支</sup>郡長以下職制別紙ノ通相定候條此旨相達候事  
別紙(郡長以下職制ハ官制改正ニ依リ消滅)

### 戸長職務概目

- 第一 布告布達ヲ町村内ニ示ス事
- 第二 地租及諸稅ヲ取纏メ上納スル事
- 第三 戸籍ノ事
- 第四 徴兵下調ノ事
- 第五 地所建物船舶賃入並ニ賣買ニ與書加印ノ事
- 第六 地卷臺帳ノ事
- 第七 迷子拾兒及行旅病人變死人其他事變アルキハ警察官ニ報知ノ事
- 第八 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫ノ者ヲ具狀スル事
- 第九 孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事
- 第十 町村ノ幼童就學勸誘ノ事



第十一 町村内ノ人民印影簿ヲ整理スル事

第十二 諸帳簿保存管守ノ事

第十三 河港道路堤防橋梁其他修繕保存スヘキ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事

右之外本支廳長官又ハ郡區長ヨリ命令スル處ノ事ハ規則又ハ命令ニ依テ從事スヘキ事

其他町村限リ道路橋梁用悪水ノ修繕掃除等凡ソ協議費ヲ以テ支辨スル事件ヲ幹理スルハ此ニ掲  
シル所ノ限ニアラス

○租税検査分任

○明治二十四年十月郡役所告示第六號各郡

自今左之各郡内租税土地ノ検査ハ其所轄戸長ヲシテ之ヲ行ハシム

一石狩國夕張、空知、雨龍、上川、樺戸、濱益郡

一膽振國千歲郡

○筆生出張其他分任

○明治二十四年十月郡役所訓第一號各戸長

左ニ列記スル條件ハ特ニ戸長ニ分任ス處分後本郡長ヘ報告スヘシ

第一 豫算定額内ヲ以テ筆生ヲ札幌區及當郡役所管内各所ヘ派遣ノ事

第二 豫算定額内ヲ以テ戸長役場臨時雇及小使進退ノ事

第三 戸長役場筆生歸省養病其他私事旅行願ノ許否及除服ヲ命スル事

第四 町村立小學校授業生及病院職員歸省養病其他私事旅行願許否及除服ヲ命スル事

○森林事務分任

○明治二十五年十二月郡役所訓第五號各戸長

左ニ記載セル事項ハ自今本郡長ノ名儀ヲ以テ取扱フコトヲ戸長ヘ分任ス(本文脱字訂正ヲ加フ)

一官林監護ノ事

一官有森林原野ノ立木一廉金五拾圓未滿拂下願許否ノ事

一官有森林原野ノ副産物一廉金五拾圓未滿拂下願許否ノ事

一官有森林原野ノ枯損木盜誤伐木及官収材一廉金五拾圓未滿拂下處分ノ事

一官有森林原野ノ土石一廉金五拾圓未滿堀取願許否ノ事

一林産物拂下ニ附帶セル官地貸下願許否ノ事

一森林諸収入測定ノ事

(明治二十五年十二月告示第二號ヲ以テ右各項ノ事ヲ戸長ヲシテ取扱ハシム旨部内ニ告示セリ

但第二第三第五第六ノ各項中許否トアルヲ調査又第四項末文「處分ノ事」トアルヲ「願許ノ事」ト記載ス)

○地方税諸營業願處分分任

○明治二十六年六月訓第一八號各戸長

當廳ノ許可ヲ受クヘキ地方税ニ係ル諸營業願ハ本年七月一日以後本郡長ノ名儀ヲ以テ其役場ニ於

テ取扱フヘシ但許可シカクキ事由アルモノハ稟議ノ上取扱フヘシ

○免税船烙印ノ件

○明治二十五年四月二日無號郡長ヨリ

本年三月北海道廳令第十九號免税船烙印ノ義ハ從來ノ手續ニ依リ木鑑札ヘ押捺下付スヘシ但烙印

三



ハ當所第二課ヨリ送付ス

庶務（學事、兵事、町村費）ノ部

◎戸長役場處務細則

○明治二十四年十月二十二日郡役所訓第二號各戸長役場宛

戸長役場處務細則

- 第一條 凡ソ戸長役場ノ事務ハ簡便速成ヲ旨トシ戸長親ラ之ヲ處理ス但戸長不在ノキハ首席筆生ニ代理セシムルコトヲ得
- 第二條 戸籍上ノ出入其他定例成規アル人民願届及通常輕易ノ事件ハ豫メ處理方法ヲ指示シ筆生ヲテ掌理セシムコトヲ得
- 第三條 凡ソ收受又ハ發送ノ文書ハ其件名番號及年月日ヲ收受又ハ發送件名簿ニ登記シ同時ニ該文書ニモ同一ノ番號（收受文書ハ除外ニシテ）ヲ記入スヘシ
- 第四條 凡ソ發送文案及役場限リ處理議案其他一切ノ事件ハ必ス戸長決判ノ上處理スルヲ要ス
- 第五條 凡ソ發送文書及部下告示諭告又ハ人民ヘノ指令等ハ戸長名ヲ以テスヘシト雖他ノ戸長役場其他諸向ニ對スル一時限リノ通常往復文書ハ役場名ヲ以テスルモ妨ケナシ
- 第六條 告示諭告伺稟申其他發送文書ノ番號ハ左ノ區別ニ依ルヘシ
  - 一 告示諭告 告（諭）第 號
  - 一 長官及郡長宛伺稟申類 甲第 號
  - 一 當衙各課ニ發送スル文書 乙第 號

一 諸向ニ發送スル文書

丙第 號

- 第七條 長官及郡長ニ進達スヘキ人民願届書ヲ收受シタルキハ第三條ノ手續ヲ履行シ其收受件名簿ニ進達月日ヲ登記シ例規ニ據リ與書又ハ連署ノ上速ニ之ヲ進達スヘシ
- 第八條 凡ソ人民願届届ハ上司ニ進達スルモノト戸長限リ處分スルモノトヲ問ハズ副本ヲ要セサルモノトス但定例成規ナキ事件ニシテ將來參考上必要ト認ムルモノハ此限リニアラス
- 第九條 凡ソ發送文書ノ諸文及人民願届ニ對スル指令文例等ハ別紙附録ニ據ルヘシ
- 第十條 凡ソ期限アル諸報書其他進達モノハ豫テ其進達期限表ヲ視易スキ箇所ニ揭示シ置期限ヲ愆ラサル様注意スヘシ
- 第十一條 凡ソ文書ハ保存期限ニ據テ種別シ處理ノ都度假綴シ一年毎（會計ニ關スルモノハ會計）ニ之ヲ編冊スヘシ
- 第十二條 一年中ノ收受發送文書數ハ翌年一月十日限リ郡長ニ報告スヘシ
- 第十三條 服務時限ハ道廳ノ規定ニ據ルト雖モ事務多端ナルキハ時限外ト雖モ猶ホ服務シ事務遲滯ナキヲ要スヘシ
- 第十四條 役場員疾病事故アリテ缺勤スルキハ出勤時限マテニ其旨戸長ニ（戸長ハ）届出ツヘシ
- 第十五條 役場員出勤スルキハ出勤簿ニ就キ捺印シ退出ノキハ管掌スル書類器具等ヲ取函シ重要ノ鎖鑰等ハ戸長ニ於テ保管スヘシ
- 第十六條 退場後及休日ハ必ス一名宿直シ諸向ヨリ到達ノ文書ハ宿直日誌ニ記載シ翌日戸長ヘ差出スヘシ但親展文書及電報ハ直ニ宛名ニ廻付スヘシ

（附録）



「伺上申届等ノ文例」

何々之義伺(上申)(稟請)(御届)  
 何々(文意ハ簡明ナルヲ要ス)此段相伺(上申)(稟請)(御届)候也  
 「諸向往復文書ノ詰文例」  
 此段及御照會(及御回答)(及御依頼)(申進)候也  
 「人民願伺ニ對スル指令文例」

何郡何町村何番地

何

某

明治何年何月何日付何々(署名)願伺ノ件ハ許可ス「許可シ難シ」認可ス「認可シ難シ」左ノ通  
 心得ヘシ

一何々

二何々

明治 年 月 日

局長印

「收受」(發送)件名簿書式

(用紙適宜)

△印ハ朱書

△ 何月何日

例ノ受取△

番 號	先 方 名	件 名	處分摘要	主任印
一	某戸長役場	何々ノ件	何月何日回答済	○
二	某課長	、、、	不要回答	○

例ノ送致△

一	某課	何々ノ件	何月何日回答アリ	○
二	某役所	、、、	不要回答完結	○

△ 何月何日 (以下做之)

△備考 發送簿ハ第六條ニ據リ番號ノ異ナル毎ニ別帳又ハ適宜口譯ニシ收受簿ハ諸向チ合併記載スヘシ

「人民願伺届收受簿書式」

(用紙半紙鮮)

△ 何月何日

收受番號	件 名	處分摘要	住 所 氏 名
一	何々願伺(届)	即日何衙へ進達(何月何日許可セラル)	何町村 誰 某
二	(以下做右)	何月何日進達(不要指令)	(以不做右)
三		何月何日指令下付	
四		何月何日處分登記済	

△備考 土地貸下抛下願届ニシテ受付頻繁ナルモノハ其種類毎ニ別冊又ハ口譯ニシ收受番號ヲ異ニスルコトヲ得







發送表中人民ノ欄ニハ戶長限リ指令シタルモノ、ミナ掲クヘシ  
「人民願届收受シタルトキノ例」

戶長決判 受 付 印 ○ 取扱者小印

戶長 ○

願之趣

(伺之趣)

左之通

指令スヘキ哉

主掌者印

備考 欄外上額ハ戶長限リ處分スルキノ例ヲ示ス

郡役所ニ進達スヘキモノハ受付印ヲ書式ニ比シ凡ソ貳寸以下ノ所ニ押捺スヘシ

◎分任條件處分後報告

○明治二十四年十月二日丙第一六三一號<sup>各月長宛</sup>

今般訓第一號ヲ以テ戶長分任條件定メラレ候處右所分後報告方左記ノ通御心得有之度此段及御通牒候也

一 第一項ノ報告

是レハ發着月日及御用件名巡回地名若クハ出張先並其筆生ノ氏名便宜表式ニ調製シ歸着後三

日內ニ報告スヘシ

一 第二項ノ報告

是レハ族籍氏名及給額並採用又ハ解雇月日ヲ表式ニ調製シ即日報告スヘシ

一 第三項ノ報告

是レハ事故<sup>(病者又ハ)</sup>及許可月日旅行日數又ハ忌引及除服月日並氏名ヲ旅行ハ許可シタル日除服ハ出仕ヲ命シタル日ヨリ三日以内ニ報告スヘシ

一 第四項ノ報告

是レハ前項ノ例ニ倣ヒ翌月五日限リ報告スヘシ

◎長官宛伺上申等正副差出方

○明治二十四年十月一日丙第一六一四號<sup>各月長宛</sup>

長官宛伺稟申及諸報告ハ自今正副二通御差出可有之郡長命ニ依リ此段及御通達候也

(本件ハ自今法律規則等ニ依リ差出スモノハ副本ヲ要セス定例成規ナキモノニ限リ正副差出スヘキ旨明治二十五年三月丙第五六三號ヲ以テ通牒ス)

◎臨時雇採用方心得

○明治二十五年十二月丙第一九三九號<sup>各月長宛</sup>

經費豫算內ニ於テ戶長役場臨時雇採用ノ義ハ豫テ分任相成居候處他ノ官衙又ハ役場等ニ奉職シタル履歴アルモノヲ採用セントスルトキハ先以テ一應稟議相成候様致度郡長命ニ依リ此段及御通牒候也

本件ハ更ニ左ノ通了知有之度旨明治二十六年一月丙第一四號依命通知ス



「一凡ソ官衙ニ奉職(本官願員)シタル履歴アルモノニシテ退職後滿一ケ年ヲ經過セサルモノナルトキ  
 其履歴書ヲ添ヘ一應稟議セラルヘシ  
 一前項ニ該當セサルモノト雖モ他部内ニ本籍アルモノナルトキハ便宜族籍其他不都合ノ有無ヲ取  
 調差支ナキモノニ限リ採用セラルヘシ」

○臨時雇小使命免報告

○明治二十六年八月丙第一五九一號各月長宛  
 臨時雇及小使採用若シテ解職セシ時ハ自今別紙書式ニ依リ報告可有之此段及御通知候也

報告

職名	採用年月日	解職年月日	給額	氏名	摘要
小使	何年何月何日		金何拾錢	何某	
臨時雇	何年何月何日		金何拾錢	何某	豫算定額内雇入又ハ明治何年何月何日何日間雇入ノ幾何等可載スヘシ
何々	何年何月何日		金何拾錢	何某	

右報告候也

年月日

郡長宛

戸長氏

名

○戸長以下出張、旅行届出方

○明治二十五年四月丙第八六三號各月長宛

自今戸長及筆生又ハ臨時雇ノ者出張及私事旅行ノ節ハ左ノ通御心得可有之候

- 一 御用出札ノ節ハ若札ノ當日其件名及滞在見込日數宿所等ヲ書面ニテ届出歸任ノ際ハ發足五時間前ニ全上届出ツヘシ
- 二 部内及當郡衙管内各所へ御用出張ノ節ハ其件名及發着月日ヲ歸任ノ當日報告スヘシ
- 三 私事旅行ハ休暇又ハ執務時限外ニ於テ當日立歸ノ場合ヲ除ク外部下内外ヲ問ハス凡テ郡長ノ許可ヲ受クヘシ(本項ハ月長ニ限リ適用スル義ニシテ筆生ハ分任條件ニ依リテ之キ旨明治二十五年五月丙第八八七號ヲ以テ通牒ス)
- 四 第一第二ノ場合ニ於テ其手續ヲ爲サザルトキハ豫算定額内ト雖モ旅費ノ支給ヲ爲サザルヘシ

右依命及御通牒候也

○戸長出張ハ認可ヲ受ケルコト及ハズ

○明治二十五年四月丙第八五八號各月長宛  
 自今戸長ニ於テ札幌區及當郡役所管内各所へ出張ヲ要スルキ該旅費豫算定額内ニ係ルトキハ認可ヲ受ケルニ及ハズ云々

○戸長筆生裁判所へ出頭スル場合ノ心得

- 明治二十六年七月丙第一四〇八號各月長宛
- 一 戸長又ハ筆生ニシテ民刑訴訟事件ニ付裁判所へ出頭スル場合ノ心得左ノ通御心得有之度候
  - 一 証人又ハ事實参考人トシテ裁判所メ召喚ヲ受ケタルトキハ郡長ノ許可ヲ受ケタル後出頭スヘシ
  - 二 町村理事ニ關シ民事訴訟ノ原被トシテ出頭ヲ要スルトキモ亦前項ニ同シ



三 前各項ノ場合ニ於テ出頭ノ期日切迫シ郡長ノ許可ヲ受クル餘日ナシト思慮スルキハ一方裁

判所ニ對シ相當ノ猶豫ヲ請ヒ全時ニ本文ノ通取速ブベシ

但緊急ノ必要ニ依リ猶豫ヲ請ヒカキキハ不取敢出頭ノ上其理由ヲ具シ出張先ニ於テ許  
可ヲ受クルモ妨ケナシ

四 刑事被告トシテ召喚又ハ拘引セラレタルトキハ郡長ノ許可ヲ受クルニ不及尤モ此場合ニ於  
テハ其旨郡長ヘ即報スヘシ

◎戸長筆生裁判所へ出頭ノ節旅費支給方

○明治二十七年三月十二日丙第五七九號各月長宛

戸長又ハ筆生ニシテ民刑訴訟事件ニ付裁判所へ出頭スル場合ノ心得方昨二十六年七月丙第一四〇  
八號ヲ以テ及御通牒置候處職務上ノ關係ニテ証人又ハ事實參考人トシテ出頭スルキハ其旅費日常  
ハ經費ヨリ支辨スル等ニ付法律ノ規定ニ依リ裁判所へ請求スヘキ旅費日當ハ給與ヲ受ケタル上歳  
入ニ可組入義ト御心得有之度依命此段及御通牒置候也

再伸町村有財産等ニ關スル訴訟事件ナルキハ本文ノ限リニ無之候條爲念申添候也

◎告示諭告報告

○明治二十五年四月郡役所訓第二號各月長宛

自今部下ニ對スル告示諭告ハ其都度全文ヲ報告スヘシ明治二十六年九月丙第三四號町村費及町村有財産取扱心得第十一條末項參看

◎學校病院職員辭令其他發送方

○明治二十六年八月二十八日丙第一六一六號各月長宛

町村立小學校及町村立病院職員ノ進退賞罰ニ關スル辭令受書並ニ新ニ採用スル時本人ヨリ差出ス

處ノ履歷書ハ本人ヨリ直接郵送セシメ差支無之若又其役場ヨリ發送スル場合ニ於テハ之ニ要スル  
郵税ハ本人ヨリ徵收スルヲ得ル儀ト御承知相成度此段及御通知候也

◎私訴提起又ハ民事訴訟ノ場合心得方

○明治二十六年七月十九日丙第一四〇七號各月長宛

凡ソ犯罪事件ニ依リ戸長擔任ノ事務ニ關シ官ノ損害ヲ來シタルトキ公訴ニ付帶シ之レカ賠償ノ私  
訴ヲ提起シ又ハ民事ノ訴ヲ起スヘキ場合ニ於テハ國ヲ代表スル委任ヲ受クル爲メ事件ノ顛末ヲ具  
シ郡長ニ伺出ラルヘシ尤モ官林盜伐等ノ場合ニ於テ贓物現存シタルキハ刑法附則第五章第五十四  
條ニ據リ直ニ還付セラルヘキ等ナリト雖モ職務ヲ以テ告發シタル事件ニ係ルトキハ其贓物ヲ差押  
ヘアル旨告發狀ノ末尾ニ附記スル義ト御合ミ有之度依命爲念此段及御通牒置候也

◎寄付者賞與上申方

○明治二十年十二月丙第八七三號各月長宛

公益ノ爲メ金穀財産寄付シタル者賞與ノ義ハ明治十七年札幌縣乙第五十七號達ニ據ルハ勿論ニ候  
得共本廳第一部長ヨリ去ル二十一年一月以降別紙ノ通取調上申スヘキ旨通達有之候條爲念此段申  
進候也

追テ從來上申ノ内ニハ士民ノ別記載無之或ハ國郡町村氏名走書不分明ノ爲メ無用ノ手数ヲ要ス  
ル場合モ有之義ニ付精々御注意有之度此段申添候也

(別紙) 寄付者賞與ノ義上申

寄付金額(物品其他ナレハ其價格) 寄付ノ目的 寄付ノ年月 現住所 道府縣國郡區町村華士族平民官位勳等氏名



右之通處分和濟候條相當ノ御賞與相成度此段上申候也

年月日 何郡町村戸長

郡長宛

(備考)

- 一 寄付金額(物品ナレハ其價額)ハ其金額ノ多キ方ヨリ順次記載スヘシ
- 一 物品其他ノモノナルキハ本表金額ノ下ニ一欄ヲ設ケ其品名數量等ヲ記載スヘシ
- 一 目的ハ其寄付者ノ目的(例ハハ學校ナレハ實金經費新築費等ノ類)ヲ記載スヘシ
- 一 勅奏任官從六位勳六等以上ノ者及華族ノ戸主並ニ費途ノ毎ナル毎ニ(例ハハ學校病院道路橋梁修繕費等ノ類)別紙ニ調製スヘシ
- 一 金員ハ納受土地ハ諸般ノ處分濟其他ノモノハ都テ處分結了ノ後賞與方上申スヘシ

◎總代人改撰報告方

○明治二十六年四月十七日丙第九一〇號各月長役場宛

町村總代人定期改撰其他ノ事故ニ依リ改撰執行セシ時其退任者及當撰者氏名ハ自今別紙書式ニ依リ御報告相成度此段及御通知候也

總代人改撰報告

受持町村名	退任者	當撰者
事	故一氏名	當撰年月一族
		籍身分氏名
		者
		名
		年齢

何町	病氣ニ付	何某	何年何月	何國郡町村番地	平民	何	何年何月生
何町(村)	辭任	何某	何年何月	何國郡町村番地	平民	何	何年何月生
何町(村)	定期改撰	何某	何年何月	何國郡町村番地	平民	何	何年何月生
何町(村)		何某	何年何月	何國郡町村番地	平民	何	何年何月生

右及報告候也

年月日 戸長 氏名 印

郡長宛

◎町村費息納者財産差押命令書上請方

○明治二十六年八月十七日丙第一五五〇號各月長宛

區町村費息納者ニ對シ國稅滯納處分法第十二條ノ差押命令書ヲ發スル場合ニハ戸長ニ於テ左記難形ニ依リ不納調書ヲ作り當廳ヲ經長官ニ該命令書ノ下付ヲ上請可相成筋ト存候條爲御心得此段及御通牒候也

(本件ハ二十六年廳令第三十六號ヲ以テ郡區長委任條件トナル故ニ該命令書ハ郡長ニ請求スルモノトス)

明治何年度町村費不納調書

納金額	納期	督促令狀發付ノ月日	住所	氏名
何程	年月日	年月日	郡町村番地	氏名

右之通りニ候也



年月日

○戸長以下服務表報告方

各戸長  
役場宛

○明治二十三年十二月十二日郡役所訓示第七號

其役場及公立學校病院職員小使等服務調別紙表式ニ準シ取調翌月五日限リ其地發送報告スヘシ

(備考)明治二十四年四月訓第六號ヲ以テ岩見澤、市來知、月形、新十津川、ノ各戸長役場ヘ

モ本文同様通達ス明治二十四年十月訓第二號ヲ以テ年二回ニ改メ前半年分ハ七月十日後半年

分ハ翌年一月十日限發送セシムルコト、セリ

(別紙)

明治年 自月 至月 服務表

官職氏名	出勤	出張	休暇	忌引	病氣引	欠勤	計
戸長氏名							
用係氏名							
戸長役場 使氏名							
小學校 訓導氏名							
小學校 教授氏名							
小學校 使氏名							

郡町村戸長 氏 名

印

右及報告候也

某病院長氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名	某病院員氏名

年月日

郡長宛

戸長

(備考)新任退職其他計數本月日數ニ滿タサル者ハ欄外氏名ノ上ニ何日拜命、轉任等ト記スヘシ

○土地ニ賦課スル町村費ノ制限ニ付解釋

○明治二十五年一月八日丙第四〇號各戸長宛

從來地價割又ハ反別割ノ名稱ヲ以テ土地ニ課スル町村費ハ地租七分ノ一ヲ超過ス可ラサル規定ニ  
候處明治二十二年法律第十八號ヲ以テ明治二年以降有租地トナリタル田畑及郡村宅地ハ來ル明治  
三十一年迄特ニ地租地方稅ヲ免除セラレ候ニ付テハ隨テ全年限間ハ町村費モ該土地ニ限リ賦課セ  
サル方ト思考致候尤モ貧富ノ等級ヲ分ツ爲メ其地價額ヲ標準トシ戸別割ノ名稱ヲ以テ課スル義ハ  
差支無之義ニ候條依命此段爲念及御通牒候也



○同上申服會等一紙ニ二件列記ス可ラス

○明治二十六年十月十九日丙第一九四二號各戸長宛

同上申若クハ照會回答等其事件ノ異ナルニモ不拘一紙ニ列記スル向往々有之右ハ書類整理上ハ勿論他課へ交渉等ノ爲メ意外ノ手数ヲ要シ自然處務上遲滞ヲ來スノ恐レモ有之候ニ付爾後ハ其事件ノ異ナル毎ニ各通ニ認メ發送候様御取扱相成度此段及御通知候也

追テ同事件ト雖トモ各別ニ照會ヲ受ケタル督促ノ如キハ除ク場合ニ於テハ本文ニ依リ御取扱可相成此段申添候也

○同上申等字体端正ヲ要ス

○明治二十六年十二月丙第二四六七號各戸長宛

凡ソ上司ニ進達スル同上申書等楷書若クハ行書ヲ以テ字体正シク明瞭ニ認ムベキハ勿論ニ有之候處近頃往々其淨寫粗雑ニ流レ甚シキハ字体解スヘカラサルモノ有之候條爾後右等ノ不都合無之様御注意相成度爲念此段申進候也

○御影並勅語謄本奉衛方

○明治二十六年十二月二十五日訓第四三號各戸長宛町村立小學校私立學校

御眞影並勅語謄本奉衛方心得左ノ通相定ム

第一條 御眞影並ニ勅語謄本ハ箱櫃ニ納メ校内清淨ノ場所ヲ撰ヒ鎖鑰ヲ施シ最モ尊重ニ奉置スヘシ

奉置所ニ施シタル管鑰ハ校長若クハ首席教員封印ノ上宿直員ニ於テ保管スヘシ

第二條 天災地變等ニ際シ

二十七年  
北海道  
訓令第一  
號參照

御眞影並勅語謄本ニ危險ノ虞アリト認ムルキハ宿直員ハ勿論其他當該學校職員ニ於テ他事ヲ擲

テ直ニ豫定ノ奉選場ニ奉選スヘシ

奉選場ハ戸長ニ於テ豫メ一ヶ所乃至二ヶ所撰定シ置クモノトス

第三條 前條ノ奉選場ニ奉選シタルキハ必ラス警衛者ヲ置クヘキモノトス

第四條 御眞影並勅語謄本奉置所ニハ猥リニ出入ヲ禁シ酒帶等ノコトハ學校長若クハ首席教員之ヲ勤ムヘシ

第五條 宿直ヲ置カサル學校ニアリテハ校長若クハ首席教員ニ於テ退校後又ハ休日等特ニ夜間ハ隨時巡視シ不取締ナキ様篤ク注意スヘシ

第六條 御眞影並勅語謄本ヲ下賜セラレタル小學校又ハ各種學校ニシテ廢校シタルトキハ町村立小學校ニアリテハ戸長其他ノ學校ニアリテハ其校主ヨリ即日之ヲ道廳へ奉還ノ手續ヲ爲スヘシ

但 御眞影下賜ノ高等小學校ヲ尋常小學校ニ變更シタルトキモ亦本條ニ全シ

第七條 複寫セル

御影モ亦本心得ニ依リ奉衛スヘシ

第八條 複寫セル

御影奉掲ヲ許可セラタル屯田兵所在地私立小學校及 勅語謄本ヲ下賜セラレタル私立小學校並各種學校ニ於テハ第二條ノ奉選場ハ當該學校々主之ヲ豫定シ戸長へ届出置クヘシ

第九條 第八條ニ記載セル各小學校及各種學校ニ於テハ本心得第一條乃至第五條中校長ノ責任ニ係ルコトハ都テ其校主ノ責任ス

○御紋章ヲ帷幕等ニ附スルヲ得ス











陸海軍下士兵卒兵簿及身上異動ノ節二十三年九月道廳訓令第六十六號ニ依リ報告方從來區々ニ涉リ整理上差支候ニ付自今左ノ通御承知相成度候

一 報告書式ニ依リ豫メ簿冊ヲ調製スル事

二 下士兵卒兵籍及身上異動ノ場合ハ先ツ前簿冊ニ式ノ如ク記入シ其都度郡長ヘ報告ヲ爲スヘキ事  
但異動無之場合ハ其月分ヲ翌月三日迄ニ其旨報告スヘシ

三 報告書式ハ單ニ兵卒ニ係ル記載方一班ヲ示スニ止マルモノナレハ下士報告ノ場合ハ籤番號ノ欄ヲ改メ拜命年月日ヲ登記スヘシ

四 報告書中兵卒ニハ籤番號及兵種並ニ等級下士ニテハ任官ノ年月日及官等洩ナリ記載ヲ要ス  
五 下士兵卒他ヨリ轉住入籍ノ場合ハ先ツ本人ヲ取調アルノ外軍隊手帳ヲ査閱シ報告方誤謬ナキヲ要ス

六 下士兵卒ニハ服役ニハ一定ノ期限アルモノナレハ現役ヲ終ヘ豫備ヘ轉役豫備ヨリ後備ヘ編入セシ年月日ハ計算方尤モ注意ヲ要ス

七 下士兵卒ハ現ニ服セシ兵役ノ編入年月日ヨリ記載スルヲ

例スレハ現役中ノモノハ新兵入營ノ年月日ヲ記シ又豫備ニフリテハ現役ヲ終ヘタル日即チ豫備編入ノ年月日ヲ記スルカ如ク後備又同シ但兵種ノ異ナルニヨリテハ相同シカラズ  
八 以上報告ハ二十二年勅令第百四十七號陸軍豫備後備下士卒服役條例及全年四月勅令第百四十五號陸軍歸休兵條例並ニ二十一年五月海軍省令第六號參照取扱ヲ要ス

九 豫備徵員ハ兵種ノ如何ニ不拘未入營者ナルヲ以テ報告ヲ要セス  
右爲心得此段及御通牒候也

○陸軍召集旅費仕拂命令官

○明治二十七年一月十九日丙第二〇九號各戶

明治二十六年十二月陸軍省令第十五號ニ關スル陸軍召集旅費支出規定中ノ仕拂命令官ハ屯田監督部長ニ候旨内務部ヨリ通牒越候條爲御心得此段及御知候也

○徵兵寄留地應徵者ノ件

○明治二十七年二月三日丙第二四四號各戶

徵兵寄留地應徵者ノ件ニ付他府縣鳴司郡市長ヨリ徵兵事務條例第六十三條第二項ニ依リ適齡者壯丁名簿ヲ本人寄留地ノ戶長役場ヘ送付シ爲ニ徵收漏等ノ不都合ヲ生スル向モ有之哉ノ趣ニ付右様ノ場合ニ於テハ書類其儘函館區役所ヘ回送候様御取計有之度郡長依命此段申進候也

○海軍々人結婚條例ニ就テ

○明治二十六年十一月六日丙第二〇九二號各戶

客歲十月勅令第八十七號ヲ以テ公布相成候海軍々人結婚條例ハ現役軍人ハ固ヨリ豫備後備者モ都テ合著候旨其筋來意ノ趣ヲ以テ今般内務部長ヨリ申越候條爲御心得此段及御通知候也

○兵事關係者轉住ノ際注意方

○明治二十六年十二月七日丙第二四四六號各戶

陸軍豫備後備役下士卒他府縣ヨリ當道徵兵令未行地ヘ轉籍ノ者又ハ已前在籍者ニシテ再ヒ他ヘ轉住ノ際單ニ送籍狀ノミヲ發送セラレ毫モ兵事關係ノ有無ヲ通報セサル向往々有之哉ニ相聞ヘ願テ



入籍地戸長ニ於テハ成規ノ報告ヲ誤リ不都合ニ候條自今轉籍者有之場合ハ該關係ノ有無遺漏ナク通報候様御注意相成度郡長依命此段申進候也

◎戸長役場現金取扱ニ關スル準則

○明治二十六年八月十二日郡役所訓第二五號各戸長役場宛

戸長役場現金取扱ニ關スル準則左之通相定候條來ル九月一日ヨリ本準則ニ據リ取扱フヘシ

戸長役場現金取扱ニ關スル準則

第一條 戸長役場ニ於ケル都テノ現金ノ出納ハ本準則ニ據リ取扱フヘシ

第二條 凡ソ現金ノ受拂ハ其都度必ラス各種類別各科目毎ニ現金受拂日計簿(甲號式)ニ式ノ如ク登記スヘシ

凡ソ公金ノ出納ハ都テ前項ニ據リ現金受拂日計簿ニ登記スルコトヲサレハ他ノ當該主管帳簿ニ登記スルヲ得ス

戸長ニ於テ現金受拂ハ都テ各科目一口毎ニ登記スルヲ必要トスルキハ特ニ補助簿ヲ備ヘ登記スルヲ得

第三條 凡ソ現金ノ受拂ニ關スル証據書類(収入ハ本人ノ納付 支出ハ正當證據)ハ其餘白ニ現金受拂簿ト全一ノ番號ヲ

朱書シ之ヲ類別編綴シテ保存スヘシ但全科目一口以上アルキハ之ヲ一括シ最初ノ分ニ「取支何號」ト記シ其二枚目以下ニ「何號ノ(一)(二)(三)(四)」ト順次朱書スヘシ

第四條 戸長役場ニハ堅牢ナル金櫃ヲ備ヘ該金櫃ニハ可成二個以上ノ鎖鑰(種類ノ異ナルモノ)ヲ設ケ戸長及會計ニ從事スル筆生之ヲ分掌シ現金及現金受拂日計簿其他關係ノ概要ナル帳簿証書等ヲ藏置スヘシ

第五條 金櫃開閉ニハ必ラス鎖鑰分掌ノ筆生立會ヲ要スヘシ但事故アリ欠勤シ他ニ代理スル者ナキハ戸長限リ開閉スルモ妨ケナシ

第六條 現金五拾圓以上ニ達シタルトキハ戸長ハ筆生立會ハシメ五拾圓毎ニ便宜封裝シ其封緘ノケ所ニ戸長及筆生捺印ヲ捺シ開封ヲ要スルトキハ當該筆生ノ立會ヲ要スヘシ

第七條 金櫃ニハ如何ナル事情アルモ私金ヲ混入スルヲ得ス

第八條 金五圓以内ノ補助貨ニ限リ戸長限リ便宜保管方法ヲ設クルヲ得

第九條 戸長ハ毎月末日筆生立會ハシメ現金ヲ調査シ翌月一日乙號書式ニ據リ之ヲ郡長ヘ報告スヘシ

第十條 凡ソ現金受拂ニ關スル証據書類及現金受拂日計簿ニハ必ラス戸長及筆生捺印スヘシ

第十一條 帳簿及証書類ノ文字ハ改竄塗抹スルヲ得ス若シ誤字等アリタルトキハ朱線ヲ縦劃シ其右傍ニ明瞭朱書シ戸長捺印スヘシ

第十二條 銀行又ハ身元確實ナル一私人ニ現金保管ヲ托スルトキハ一年ノ保管見積金高及約定ノ要領ヲ具シ郡長ノ認可ヲ受クヘシ但町村ニ屬スル現金ニ就テハ總代人ノ評決ヲ經タル後本文ノ手續ヲ爲スヘシ

第十三條 本準則ハ出納官吏等ノ資格ヲ以テ取扱フヘキ諸規定ヲ妨ケス

第十四條 町村費及町村共有金等ノ現金受拂簿ハ本準則施行ノ日ヨリ廢止シ其現在金ハ本準則規定ノ受拂日計簿ニ繰越スヘシ但特ニ補助簿トシテ從來ノ受拂簿ヲ設備スル必要アルトキハ繼續使用スルモ妨ケナシ

附 則



第十五條 町村費及町村共有金取納臺帳全受拂内簿記載方其他之レニ關スル諸般ノ整理手續ハ  
 追テ規定スルマテ從來ノ例ニ依リ戶長ニ於テ便宜處理スヘシ  
 (甲號) (用紙美濃紙) 「此用紙ハ毎年度ノ初メニ於テ第二課へ請求スヘシ」(〇印ハ朱書)

番月 號日	摘要	受	拂	残
四月一日	前年度末繰越高	五〇〇〇〇		
全 上 貳	町村費收入何年度(何期)分 誰某納	一五〇〇		
通 計		五〇一五〇〇		
四月二日	町村費收入何年度分 誰某外幾名納	一五〇〇〇		
全 上 四	何々稅收入何年度分 (何期)分 誰某(外何人)納	五〇〇〇〇		
支 上 壹	何々稅支出 何金庫拂込		一〇〇〇〇	
支 上 貳	何々費(科目)何々代 誰某渡		五〇〇〇	
通 計			一五〇〇〇	
全 上 三				五〇一五〇〇

全 上 三	何學校費 何年何月分 俸給(給料)	誰某外幾名渡
通 計	六五〇〇〇	一二五〇〇〇
全 上 三		一二五〇〇〇
通 計		四四一五〇〇

記載例  
 一本簿ハ毎年四月一日ニ起リ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス  
 一本簿ハ受拂ノ所屬年度如何ニ拘ハラズ都テ毎日ノ現金出入ヲ登記スルモノトス  
 一本簿ハ豫メ所要ノ紙數ヲ見積リ之ヲ調製シ表紙ノ裏面ニ該紙數ヲ記載シ戶長檢印スヘシ  
 シ又每葉ノ綴目ニ契印スヘシ  
 一金額ノ欄内ニハ必ラス戶長及筆生檢印シ其公欄ニハ朱ニテ斜線ヲ施スヘシ

(乙號) (用紙半紙對)

明治何年何月何日長役場現金受拂報告

金庫立會人 筆生 誰 某印

摘要	種別	官金ニ屬スル分	町村金ニ屬スル分	通	計
前月ヨリ繰越金		五五〇〇〇	三〇〇〇〇		三五五〇〇〇



本月中収入	五〇〇〇	五〇〇〇	一〇〇〇〇
計	一〇五〇〇	三五〇〇〇	四五五〇〇
本月中支出	一〇〇〇〇	一五〇〇〇	二五〇〇〇
本月末日現在	五〇〇〇	二〇〇〇〇	二〇五〇〇

右之通相違無之候也

年 月 日

郡長宛

戸長 誰 某印

町村費及町村有財産取扱心得

○明治二十六年九月十八日郡役所訓第三四號各戸長 役場宛  
 從來町村費及町村有財産取扱方ニ付テハ未タ一定ノ成文規程コレナキニ依リ各地取扱區々ニ涉リ  
 監督上往々差支掛ナシトセス統テハ追テ之レカ規程ヲ設ケラル、マテ左ノ取扱心得ニ準據シ整理  
 其宜シキヲ得レンコトヲ要ス

町村費及町村有財産取扱心得

第一章 汎 則

第一條 町村公共ノ利害ニ關スル事件ハ都テ其町村總代人ノ評決ヲ經テ施行スルヲ要ス但一町村  
 以上聯合ノ事件ニ係ルキハ其關係町村總代人六分以上ノ同意ヲ要スヘシ

非常緊急ノ必要ニ依リ總代人ヲ召集スル違ナキトキハ戸長ニ於テ便宜施行シテ後總代人ノ承認  
 ヲ受クルコトヲ得

第二條 町村總代人ノ評決ヲ經又ハ事後承認ヲ受ケ若シハ金穀ノ収支決算報告ノ承認ヲ受ケタル  
 トキハ當該書面ニ各其總代人ノ署名捺印ヲ要スヘシ

第三條 町村費賦課科目及其支辨費目ノ名稱ハ一般ノ成規定例ニ據ル

第四條 町村公共ノ安全ヲ保持スル爲メ又ハ地方ノ情況ニ由リ町村費ニ充テ夫役又ハ現品ヲ賦課  
 シタルトキハ之ヲ金額ニ換算整理スヘシ

第五條 町村費又ハ町村有財産ニ屬スル費用ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關シ寄附スル金穀物件ハ總  
 代人ノ評決ヲ經テ寄附者ノ指定シタル費途又ハ使用ニ充シムヘシ

第六條 町村有財産管理ニ關スル規程ヲ設定スルトキハ總代人ノ評決ヲ經郡長へ届出ツヘシ但單  
 ニ理事上ニ關スル手續等ハ戸長限り便宜規定シテ郡長へ報告スルコトヲ得

町村立小學校基本財産若シハ備荒基本金等特ニ管理法ノ規定アルモノハ其各規定ニ準據シ細則  
 ヲ設定スルコトヲ得此場合ニ於テモ亦前項ヲ適用ス

第七條 戸長役場ニ於テハ町村費及町村有財産取扱ニ關シ左ノ諸帳簿ヲ設備スルヲ要ス但本條ニ  
 規定スル帳簿ノ外其須要ニ依リ戸長限り便宜補助簿ヲ設ケルコトヲ得

一 町村費受拂簿

明治二十六年八月當廳訓第二五號付屬甲號書式ニ準據スヘシ但用紙適宜以下全シ

二 町村有財産ニ屬スル金穀受拂簿

第一項ニ全シ



三 町村費受拂内譯簿

- 第一項ニ全シ但本簿ハ受、拂兩部ニ別ケシ受ノ部ニアリテハ書式中受拂ノ欄ヲ借、貸トシ拂ノ部ニアリテハ之ヲ貸、借トスヘシ
  - 四 町村有財産ニ屬スル金穀受拂内譯簿
  - 第三項ニ全シ但受拂ノ度數寡少ナルトキハ第二項ノ帳簿ノミヨ止メ本簿ハ之ヲ省畧スルコトヲ得
  - 五 町村費一人別賦課收納臺帳
  - 賦課法ニ基キ第十四條規定ノ要領ヲ記載スルニ足ルヘキ様適宜式ヲ定ムヘシ
  - 六 町村有財産ニ屬スル金穀一人別收納臺帳
  - 第五項ニ準據シ適宜ノ式ヲ定ムヘシ
  - 七 町村有不動産臺帳
  - 所在地、種類、名稱、坪數、價格、所有沿革等ヲ記載スヘシ
  - 八 町村有備品臺帳
  - 品名、員數、價格、購入年月日、等ヲ記載シ各所屬毎ニ別冊又ハ口譯調製スヘシ
- 前項一、二ノ帳簿ハ明治二十六年八月當廳訓第二五號戶長役場現金取扱準則第二條第三項規定ノ補助簿ニ代用スルコトヲ得
- 明治二十六年八月當廳訓第二五號戶長役場現金取扱準則第十二條ニ依リ銀行又ハ一人私人へ現金保管ヲ托スル場合ニ於テ現金振込拂出ヲ記載スル爲メ戶長ト保管者トノ間ニ帳簿ノ設備ヲ要スルトキハ甲乙式冊ヲ製シ受拂ノ都度記帳交換スヘシ

第二章 處務例規

- 第八條 凡ソ金穀ノ出納ハ會計年度ニ依リ整理スヘシ若シ年度後二ヶ月ヲ經過スルモ尙ホ其收支結了スル能ハサルモノアルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ但會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ
- 一 収入ハ其收入シタル日ノ屬スル年度ノ雜收入(科目)ニ於テ「某年度何々未納ノ分収入」トシテ受入ノ手續ヲ爲スヘシ
  - 二 支出ハ其支出シタル日ノ屬スル年度ノ雜出(科目)ニ於テ「某年度何費追拂」トシテ支拂ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第九條 町村費及町村有財産ニ屬スル金穀ノ收支豫算並町村費賦課徵收方法ハ前年度十月二十日マテニ總代人ノ評決ヲ經全月三十日限り町村費ハ明治二十年北海道廳訓令第九十號書式ニ據リ其他ハ簡明ニ要領ヲ具シ郡長へ報告スヘシ但報告スヘキモノナキハ全日マテニ其旨第一課へ報告スヘシ
- 第十條 町村費賦課徵收方法ハ一旦報告後ハ次年度ニ至リ變更シタル部分ニ限り報告スヘシ
- 第十條 町村費及町村有財産ニ屬スル金穀ノ收支決算ハ翌年度十月二十日マテニ總代人へ報告シ其承認ヲ經全月三十日限り町村費ハ第九條規定ノ書式ニ據リ町村有財産ニ屬スル金穀ハ豫算報告ノ式ニ準シ郡長へ報告スヘシ但報告スヘキモノナキハ全日マテニ其旨第一課へ報告スヘシ
- 第十一條 町村費及町村有財産ニ屬スル金穀ノ收支豫算決算並町村費賦課徵收方法ハ郡長へ報告後遅クモ七日以内ニ地方慣行ノ式ニ依リ其要領ヲ部内ニ告示スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テハ即日其告示番號及件名月日ノミ郡長へ報告スヘシ
- 第十二條 町村有財産ハ増減ノ都度無洩之ヲ臺帳へ登記シ毎年度收支豫算評決ノ際其目錄表ヲ製



シ総代人へ閲覧セシムヘシ

第十三條 町村立小學校、病院ノ經費收支豫算ハ其各學校病院ヨリ之レカ概算書ヲ差出サシメ戸長之ヲ取捨編製シ総代人評決後之ヲ其學校病院へ通達スヘシ

第三章 収支順序

第十四條 町村費ノ賦課ハ一人別賦課収納臺帳ニ據リ其調定額、賦課目、所屬年度、期間、納期限、納人氏名、告知年月日、等ヲ記載シタル甲(納付証)乙(領收証)接續ノ切符ヲ製シ戸長名ヲ以テ遲シモ納期限前十五日マテニ之ヲ各納人へ告知スヘシ

第十五條 町村有財産ニ屬スル諸收入金ハ其納期アルモノト臨時收入ニ係ルモノトヲ問ハス必ス一人別収納臺帳ニ據リ第十四條ノ規定ニ準據シ便宜切符ヲ製シ之ヲ收入スヘシ

第十六條 毎日ノ收入金ハ各其受拂簿ニ登記シ且ツ遅クモ三日以内ニ各其受拂内譯簿受ノ部(貸)ノ欄ニ登記シ豫算額ヲ控除シテ其對照ヲ明瞭ナラシムヘシ

第十七條 町村費賦課調定済ノ上ハ賦課目毎ニ其一人別金額ヲ精算シテ之ヲ各其豫算額ニ對照シ過不足ヲ生シタルトキハ其金額及理由ヲ記載シタル調定一覽表ヲ製スヘシ

第十八條 現金支拂ハ戸長ニ於テ債權者ノ請求書ニ就キ金額、事由、氏名、印章等ヲ審査シ不都合ナキトハ其餘白ニ領收証ヲ記載セシメ現金引換交付スヘシ但債權者ヨリ特ニ領收証書ヲ差出

第十九條 毎日ノ支拂金ハ各其受拂簿ニ登記シ且ツ遅クモ翌日限リ各其受拂内譯簿拂ノ部(借)ノ

サシムルモ防ケンシ



欄ニ登記シ豫算額ヲ扣除シテ其對照ヲ明瞭ナラシムヘシ

第二十條 町村費及町村有財産ニ屬スル現金ハ總代人ノ評決ヲ經スシテ他ニ之ヲ流用又ハ繰換支  
出ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 正當領收証書ハ二科目以上併合記載セシメサルヲ要ス若シ止ムヲ得サル事由アリテ  
併記セシメタルモノハ其金額科目ノ内譯ヲ明瞭朱書シ帳簿對照上錯雜ナカラシムヘシ

附 則

第二十二條 此取扱心得ハ明治二十六年十月一日ヨリ施行ス但本年度ニ限り諸帳簿ハ從來ノ例ニ  
依ルコトヲ得

第二十三條 町村費及町村有財産取扱ニ關スル從來ノ訓示通牒又ハ指令等ニシテ此取扱心得ニ抵  
觸スルモノハ本年十月一日限り之ヲ廢止ス

戸籍(社寺、衛生、恩給、賑恤ヲ包含)ノ部

◎社寺境內區域變更ノ場合心得方

○明治二十六年八月十八日丙第一五四三號各月長  
役出宛

別紙寫之通通知有之候旨其筋ヨリ通牒ニヨリ御心得之爲メ御通報ニ及候也

(別紙)社甲第四號

明治二十四年當省訓第一〇一六號ヲ以テ社寺境內地從來査定ノ區域ハ輒ク變更スヘカラサル旨訓  
令相成候處右ハ移轉即チ甲地ヨリ乙地ヘ轉スルモノ、如キモ該訓令ニ合著ノ譯ニ有之候命ニ依リ  
此段申進候也

明治二十六年八月一日

內 務 書 記 官



北海道廳長官北垣國道殿

追テ木文ニ付テハ十一年當省乙第五十七號達第二條中移轉ノ廉ハ該取扱概則手續ニヨリ右一〇一六號但書ニ準シ御稟議可相成管ニ候條爲念此段申添候也

◎傳染病報告方注意

○明治二十四年十一月丙第一九三五號各戶長宛

醫師傳染病ヲ診察セシキハ二十一年十一月北海道廳令第七十號傳染病者届出手續第一條ニヨリ二十四時内ニ初診ノ報告ヲ爲シ全第四條ニヨリ患者全治ハ三日内死亡ハ二十四時内ニ報告スヘキ之處或ハ數月日ヲ經過報告シ就中多クハ初診報告セシ而已ニテ轉歸ヲ報告セス夫カ爲メ其筋ハ報告ニ差支當廳ニ於テハ其結果ヲ取調フルニ數回往復ノ手数ヲ累テ日子ヲ費シ不都合ニ付二十一年廳令第七十號ノ旨趣篤ト了解初診轉歸共ニ規定ノ時日内ニ無洩報告候様御部内醫師各自ニ御諭達相成度郡長命ニ依リ此段申進候也

追而醫師報告書ニ公書添付進達ノ向モ有之候ヘトモ右ハ急速ヲ要スルモノニ付受理直チニ區戶長檢印ヲ捺シ即時發送スヘキ管ニ有之候條右ニ御承知可有之爲念此段申添候也

◎醫師及藥劑師試驗ノ際注意方

○明治二十六年六月十九日丙第一二七九號各戶長宛

本年內務省令第六號ヲ以テ醫術開業試驗及藥劑師試驗手数料ハ自今登記印紙ヲ以テ納付セシムルコトニ被定候ニ付テハ出願者ノ不注意ヨリ自然手数料ヲ無効ニ歸セシムルノ虞モ有之候ニ付左記之廉注意候様其筋ヨリ申來候間爲念此段及御通知候也

一 二十四年十一月內務省告示第五十七號ノ願書寫眞ノ注意ヲ要ス

一 醫術開業試驗規則第八條ノ修學年月ノ注意ヲ爲スコト但後期試驗ハ前期試驗出願ノトキ既

ニ滿三ヶ年以上修學セシモノハ前期試驗及第後壹ヶ年ノ修學ヲ經ス出願シ又ハ前期試驗及第後壹ヶ年ノ修學アル者ハ前期修學ノ履歷ヲ記載セサルモ妨ケナシ

一 全則第九條但書ノ保証ヲ注意スルコト官立府縣立醫學校若クハ私立醫學校ノ卒業證書ハ本書點檢ノ上ハ謄本ナルモ苦シカラス

一 手数料ノ金額ニ相當スル登記印紙ヲ願書ノ族籍氏名ノ上ニ貼用シ署名ノ下ニ押捺シタル印形ヲ以テ書面ト印紙ノ彩紋トニカクテ消印セシムヘシ他所ニ貼付シタルモノト雖トモ手数料ノ金額ニ相違ナキトキハ受理シ差支ナシ

◎恩給出願中轉籍等ノ節届出方

○明治二十年九月八日丙第三四四號各戶長宛

陸軍恩給令ニ依リ恩給並ニ扶助料賑恤金給助金等出願中轉籍寄留替等致シ届出サル者往々有之右ハ恩給登錄寫帖並金員下付ニ差支不都合不替候ニ付自今右等ノ異動有之者ハ速ニ申出ヘク旨其筋ヨリ申越候條其都度速ニ御申出相成度豫メ此段申進置候也

◎社寺總代人撰舉届書ニ神官住職連署方

○明治二十四年十二月十八日丙第二四六〇號各戶長宛

明治十四年內務省乙第三十三號達中社寺總代人ノ儀氏子檀家中(氏子檀家ナキ)相應ノ財産ヲ有シ衆望ノ歸スルモノ三名以上相撰ミ戶長役場ニ届出サセ云々トアルニ付總代人撰舉ノ届ニハ別段届出ノ式ヲ定メサルカ如クアレハ該撰舉届モ社寺ノ届ニ屬スルヲ以テ無論神官若クハ住職ト現住ノ總代人ト連署シ届出サシムヘキ管ニ有之旨其筋ヨリ通知有之候條爲御承知此段及御通報候也



◎神官撰擧注意方

○明治二十五年八月二十九日丙第一四〇二號各戸長宛  
神官撰擧注意之件別紙寫之通訓令相成候條御承知相成度命ニヨリ此段及御通知候也  
(別紙)  
訓第百九十三號

官司以下撰擧注意ノ件左之通内務大臣訓令相成候條該趣旨厚ク心得ラルヘシ  
札 幌 郡 役 所  
北海道廳長官北垣國道

訓第五〇二號明治廿五年八月三日  
内務大臣ヨリ長官宛

神社ニ奉仕スル者ハ品行方正ニシテ相當ノ學力ヲ有シ平素敬神ノ意ニ厚ク兼テ本邦ノ古典舊儀ニ  
通シ各其奉務規則ニ對スルノ實績ヲ擧クヘキヲ要スルヲ以テ官國幣社神職ハ本年當省訓令第四號  
試驗規則第八條ニ依リ府縣社以下祠官掌ハ十五年八月當省乙第四十六號達ニ依リ其學術性行ヲ審  
査シ適當ノ人物ヲ採擇スルヲ以テ大體ノ旨趣トセリ然ルニ近來各府縣舊神官若シハ祠官掌志願  
者ノ中前段第四號第十條及ヒ第十一條又同時ニ發シタル訓令第五號等明文ノ旨趣ヲ誤解シ學術性  
行ヲ重クセヌ間々競争心ヲ起シ或ハ其弊タル多數ノ氏子等ニ波及スルヤノ聞ヘ有之ヲ以テ外ノ事  
ニ候元來右等特別ノ例ヲ設ケタルモ學術性行ヲ措テ願ミヤル旨趣ニ無之特別令中學術性行等適當  
ノ人物ヲ得テ敬神ノ實ヲ擧ク保存ノ途ヲモ立シメタキ精神ニ外ナラス候條心得違ヒ無之樣訓諭ヲ  
加ヘ官司以下撰擧ノ際ハ一層注意セラルヘシ  
右訓令

◎行旅病人死亡人取扱方注意

○明治二十六年五月二十四日丙第一一六三號各戸長  
役場宛  
行旅病人死亡人取扱手續ハ訓令第三十一號ノ規定ニ據ルハ勿論ニ候處其第二條本籍役場へ報告ノ  
場合ニ於テ同條各項ノ記載詳悉ヲ欠クキハ往復照會ノ手續ト費用ノ増嵩ヲ來シ義ニ付當初報告ノ  
際遺漏ナキ様記載ヲ要スルノミナラス當病者歸國ノ難易(當時歸國ノ見込ナキモノハ以後幾月日  
ニシテ附添人ヲ付シ若シハ之ヲ付セス歸國シ得ヘキ見込等)及之レニ要スル費用等可成詳細ニ  
通知相成候様致度且右ニ要スル費用ハ他府縣ニ比シ巨額ニ及フノ傾モ有之右ハ彼是物價勞力賃等  
ノ差ニ因ルモノト相考候得共是等モ可成輕減候様致度此段及御照會候也(道仰アレ)

○賣藥検査願ニ現品ヲ添付ニ及ハズ  
○明治二十年二月十九日往徭第二二七號各戸長  
役場宛  
賣藥検査出願ノ際是迄現品差出來候處自今差出ニ不及尤現品ヲ要スル節ハ差出方申越候旨其筋ヨ  
リ照會有之候條爲心得此段及通達候也

○賣藥請賣行商者販賣藥品期限  
○明治二十年十一月五日丙第六三〇號各戸長  
役場宛  
賣藥請賣行商者所持ノ賣藥販賣期限ノ儀ニ付内務書記官ヨリ通牒有之趣ヲ以テ其筋ヨリ別紙ノ通  
通知相成候條此段申進候也

(別紙)  
衛甲第二九號

明治十九年十一月勅令第七拾貳號ヲ以テ賣藥營業期限廢セラレ候處賣藥營業者廢業ノ節請賣行商



者ニ於テ所持スル該廢業者ノ賣藥ハ從前ノ通其廢業後六ヶ月間販賣差許サレ不苦儀ニ候條爲念此段及御通牒候也

明治二十年十月二十四日

內務書記官

北海道廳長官岩村通俊殿

◎施療藥價請求書記載方

○明治二十四年七月二十三日丙第九七三號各戸長 役場宛

貧民施療ハ該規則州二條ニ相當スルモノニ限リ候間自今藥價請求ノ際ハ患者姓名ノ肩書ニ施療規則第二條第一項若シクハ第二項ニ該當スルモノト御明記相成度旨其筋ヨリ申來候條爲御承知此段及御通知候也

◎醫術開業試驗出願者次回ハ延期願取扱方

○明治二十五年四月十二日丙第七一七號各戸長 役場宛

醫術開業試驗規則第十五條但書ニヨリ次回ハ延期ヲ出願スルモノアルキハ願書ニ事故ヲ證明スヘキ書類添付可爲致且藥劑師試驗モ全樣取扱相成度旨其筋ヨリ申來候條爲御承知此段及御通知候也

地理、森林ノ部

◎官有地特別處分其他ノ爲メ評價委員常設方

○明治二十四年一月二十六日丙第一〇四號各戸長 長宛

客年勅令第三百三十五號官有地特別處分規則及勅令第六十九號官有森林原野及產物特別處分規則ヲ以テ賣渡シ又ハ貸渡ニ要スル評價委員常設方其筋ヨリ照會之次第モ有之候間其事々精シキモノニ

名以上撰定其氏名至急御申出相成度此段及御照會候也

◎森林處務及檢查手續

○明治廿五年十二月一日訓第五號各戸長 長宛

今般其所管內森林事務分任ニ付別紙訓第二百六十六號ヲ以テ處務手續及檢查手續ヲ被定候條右ニ據リ取扱ハルヘシ

(別紙)

訓第二百六十六號

森林處務手續及林產物拂下檢查手續左之通之ヲ定ム

明治二十五年十一月十二日

北海道廳長官 北垣 國 道

森林處務手續

第一條 林產物拂下事務ハ明治二十一年廳令第三十一號官林木特賣規則及全年廳令第三十二號官

林雜產物特賣規則全第三十三號官林產物公賣規則並ニ森林務課派出所員服務條規全處務細則森

林取扱手續ニ依ルヘシ

第二條 林產物拂下林地貸渡林業付帯即チ炭産地ノ類願書ヲ受理シタルキハ其願書ニ就キ支障ノ有無ヲ審查シ

差支ナキモノハ實地踏檢スヘシ

但金高五十圓以上ノモノハ事出チ具シ經伺ノ上處分スヘシ

第三條 炭用木拂下ハ數量ヲ定メ六ヶ月以内ニ製造シ得ルノ見込ヲ以テ出願セシムヘシ

第四條 實地檢查ノ上差支ナキモノニハ速ニ代金ヲ納付セシメ全時ニ許可ノ指令及入林鑑札ヲ下



付スヘシ

第五條 林地貸下及炭用木ヲ拂下タル者ニハ入林鑑札ヲ下付セサルモノトス

第六條 林產物拂下又ハ林地貸下ヲ許可シタルキ甲乙丙號書式ノ臺帳ニ其員數及事由ヲ詳記スヘシ

第七條 林產物拂下ヲ許可シタルキハ検査員ヲシテ丁號書式ノ如ク検査書ヲ作ラシメ伐採濟検査其他ノ参照ニ供スヘシ

第八條 伐了検査ヲ出願スルキハ別ニ願書ヲ徴セス前條検査書ニ検査ノ年月日ヲ記入シ出願者ノ認印ヲ徴スヘシ

第九條 森林諸收入事務ハ明治二十二年勅令第六十號會計規則全年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則全第六十六號諸收入出納順序全二十四年農商務省訓令第十一號官有土地森林原野收入金徵收規程全二十三年會計検査院達第一號證明規程ニ據ルヘシ

第十條 官有山林原野事項報告書式ハ明治十九年七月當廳訓令第九十五號及明治二十四年農商務省訓令第十五號ニ依リ翌月五日限り當廳ニ差出スヘシ

但官林被害ニ係ルモノハ其時々詳細申報スヘシ  
(甲號 乙號 丙號書式畧ス)

丁號書式

林產物拂下検査書

拂下人 住所 氏名  
保証人 住所 氏名

何郡何村字何官林ニ於テ

一 何名 (樹名) 至何寸 何十本

二 全 (全)

三 全 (全)

合 何百本

一 何年月日付出願

二 何年月日第 號指令

三 何年月日代金何圓徵收濟

四 入林鑑札何枚下付

五 入林ノ期限

六 何年月日伐了検査申出○ 願人ヲシテ檢印セシム

七 何年月日伐了検査濟此造材

一 何々 (種類) 何十本

二 何々 (全) 何十本

三 何々 (全) 何十本

四 何々 (全) 何十本

八 何々 (必要ノ事故摘要)

九 何々 (全) 上

備考



雜產物新炭材モ之ニ準スヘシ

年 月 日

檢 查 員 官 氏 名 印

林產物拂下検査手續

- 第一條 生立木及枯損立木拂下願ハ郡長ニ於テ審査ノ上検査員ヲシテ實地踏檢セシメ其用材ト薪炭材トヲ問ハス毎樹目通周尺ヲ量定シ各樹根ニ檢印スヘシ
- 検査員ハ郡書記又ハ備員ヲ以テ之ニ充テ其官氏名ヲ當廳ヘ届出ヘシ
- 第二條 前條實査濟ノ願書ニハ検査ノ年月日ヲ記入シ検査員認印スヘシ其記入認印ノナキトキハ検査員ノ復命ヲ徵シ許否スヘシ
- 第三條 枯損倒木末木副產物（土石ヲ除ク）及目通六寸未満ノ小木拂下願ハ（早切材ノ如キ長柄ノ儘）實地踏査ヲ要セス願面區域小字ヲ限リテ許可スヘシ但特ニ實地ノ踏査ヲ必要トスルトキハ此限リニアラス
- 第四條 前條ニ依リ拂下ケタルモノハ其拂下區域内便宜ノ場所ニ集積セシメ遣伐ハ檢印濟ノ上搬出ヲ許可スヘシ但遣伐検査ノ際拂下外ノ木種數量アリト認ムルトキハ郡長ニ具申シテ其指揮ヲ請フヘシ
- 第五條 凡ソ立木ノ拂下造材ハ每樹根ニ集積セシメ伐了検査ヲ經ルニアラサレハ他所ヘ移轉若クハ他樹ト混交ナラシムヘカラス但第四條ニ係ルモノハ此限ニアラス
- 第六條 立木拂下ノ地險阻ニシテ造材集積シ能ハサルトキハ其拂下地ノ小字ヲ限リ最近ノ地ニ集積セシメ伐了検査ヲ爲スヘシ
- 第七條 伐了検査ハ炭用木ト第三條ノ小木拂下ヲ除キ總テ其斷株面ト造材トニ檢印スルモノトス
- 第八條 炭用木斷面検査ハ次回該用木拂下検査ノ際每株斷面ニ檢印ヲナスヘシ若シ六ヶ月以内ニ

次回ノ拂下ヲ爲サ、ルトキハ特ニ斷面ノ検査ヲナスヘシ但伐採期限六ヶ月ヲ經過シタルハ其樹根ノ檢印ヲ消除スルカ又ハ更ニ拂下ノ出願ヲナサシムヘシ

- 第九條 伐了検査ヲ了セシトキハ林產物拂下検査書ニ其造材種目數量等本願ニ關スル必要ノ事項ヲ記入スヘシ
- 第十條 官林内ニ於テ無檢印ノ根株又ハ無願斫伐ト認ムヘキ木材ヲ發見シタルトキハ取字印ヲ打込ミ其地名樹名種木及數量等ヲ森林手簿ニ詳記シ速ニ郡長ニ申報スヘシ
- 第十一條 警察官其他ニ於テ官林盜伐等ヲ發見シ其押収ニ係ル木材ノ引渡ヲ受ケタルトキハ速ニ取字印ヲ打込ムヘシ
- 第十二條 盜誤伐木官取材ノ拂下ヲ許可シタルトキハ取字印ノ傍側ニ改字印ヲ打込ミ引渡スヘシ
- 第十三條 検査員ハ常ニ森林手簿ヲ携帶シ實地踏檢伐採濟検査之事蹟地名樹名種目數量等凡ソ森林ニ關スル諸般ノ要件ヲ摘載シ巡回若クハ出張毎ニ郡長ノ査閱ヲ經ヘシ
- 森林事務監査ノ爲メ當廳ヨリ出張セシメタル吏員ハ前項ノ森林手簿ヲ査閱スルコトアルヘシ
- 第十四條 森林手簿ニハ事蹟ノ煙滅ヲ豫防シ發着地名年月日等ヲ日記体ニ明記シ諸般ノ事項及經歷時刻等ヲ詳記スヘシ

◎森林諸帳簿式

○明治二十五年十二月一日丙第一八一二號（各月長）  
 森林事務取扱ニ係ル諸帳簿ハ別紙様式ニ依リ調製可相成候此段及御通知候也

(別紙) 土地貸下帳様式

受付指	番號	年月日番	地 名	反 別	期 限	雇數又ハ 堀取場數	員 數	住 氏	名
-----	----	------	-----	-----	-----	--------------	-----	-----	---



入林鑑札番號簿樣式

鑑札 枚數	全番 號上	下付月日	期限	摘 要	所住 氏名
				立木伐採ノ爲 枯損木伐採ノ爲	

林産物受領簿樣式

第一號

一茅

何東 林第  
入林鑑札何枚

號 指令ノ號

年月日

何村何番地

何

某

印

第二號

一概樹外何種立木何十本

入林鑑札何枚

林第

號

年月日

何村何番地

何

某

印

受付件銘簿樣式

番 號	月 日	氏願 名	人 件	名	完	年 月 日	結 故
--------	--------	---------	--------	---	---	-------------	--------

立木拂下  
(何々)

指令番號ヲ  
記入スヘシ

◎森林指令用紙受拂方

○明治二十五年十二月一日丙第一八二五號各戸長宛

訓第六號森林事務分任ニ就テハ渾テ郡長名ヲ以テ御扱可相成依テ指令書用紙左記ノ通り御差回及置候條處分翌月五日限リ該件數並ニ用紙ノ出納御報告之事ト御承知相成度御心得迄此段及御通牒候也

指令書用紙

枚

◎雜産物數量單位名稱及胡桃樹拂下手續

○明治二十五年十二月三日丙第一八三〇號各戸長宛

雜産物數量單位名稱及胡桃樹拂下手續別紙寫之通ニ候條右ニ據リ御取扱相成度此段及御通牒候也

(別紙) 官林雜産物拂下改正單位

單位名稱	雜産物種類
尺	末木(營上用)
棚	末木(薪炭用)
束又ハ把	末木、枝條、蔓、柴、地竹、笹、下草、山菜



個	根株、轉石
貫	木葉、樹皮、樹液、蕈類、草根、葡萄實、獼猴桃實
石	樹實
坪	土砂
切	石材

(備考) 束、把、個、ノ三種ハ單位ニ止メ其他ハ單位以下三位迄ヲ記載スヘシ  
束ハ長三尺繩一廻シヲ以テ單位ト定メ束ノ小ナルモノハ把ヲ以テ之ヲ算ス例ハ山葵、芹、  
等ノ種類是ナリ但蔓ハ大小長短ヲ問ハス都テ長六尺ニ切斷シタルモノト見做シ(三尺繩ニテ  
結束)之ヲ算ス

束ヲ以テ算スル末木ハ幹材ノ少部雜用ニ供スルモノトシ枝條ハ生枯ヲ問ハス之ヲ編入シ地竹  
及笹ハ其使用ノ目的莖ニアルト葉ニアルトニヨリ或ハ其種類ニ因リ區別ス山菜トハ蔴、蕨、  
獨活、筍等山林内ニ生スル蔬菜類ヲ汎稱ス根株ハ單ニ根部ノミナラス幹脚ノ部モ之ヲ算スヘ  
シ

林第一九四號

過般及送付置候官林木特賣定價表中胡桃ノ二字ヲ削除ス尤該樹種ハ銃床伐トシテ特殊ノ効用ヲ有  
シ他ニ代用スヘキモノ絶テ無之而シテ其產所ヲ問ヘハ境土極メテ狭シ河畔等々點在スルノミナレ  
ハ一朝濫伐ヲ加フルキハ前途果シテ製銃上ニ困難ヲ生スヘキハ勿論ニ付可成他用ニ拂下ヲ禁シ且

銃床用ノ名義ヲ以テ拂下ヲ出願スルモノアルキハ所用廳ノ命令書若クハ其命令ヲ受ケタル者ヨリ  
該材取揃ノ爲メニ發シタル囑托書ヲ証認シタル上コアラサレハ許可セサル儀ト御心得可有之此段  
及通達候也

但該木拂下直段ハ水松槐同様都度相當見込代價ヲ徵スル義ト御心得可有之候也  
明治二十一年七月九日 第二部 林 務 課

○營工用ノ外拂下ヲ許サ、ル木種  
○明治二十五年十二月七日丙第一八五〇號各月長 役場宛

左記ノ木種ハ營工用トシテ佳良ノモノナルモ薪炭用トシテ往々拂下ノ向モ有之森林經濟上利害ノ  
關係不尠趣ヲ以テ内務部長通達ノ次第モ有之候條爾後薪炭用トシテハ拂下特許願出受理セサル様  
御注意相成度此段及御通知候也

- 檜 松 蝦夷松 五葉松 杉 落葉松 羅漢柏 壇地
- 桂 槐 刺楸 白楊 栗 琪楠樹 檜 松 桑

○林產物特賣受買業ニ際シ委任狀等ヲ要スル場合  
○明治二十五年十二月十日丙第一八六四號各月長 役場宛

林產物拂下ノ義ハ明治二十一年五月廳令第三十一號第一條第二項乃至第四條第一項第二項ニヨリ  
特許願ヲ受理可相成筋ニ候ヘトモ其第一條第二項外ニ涉レル受負等ノクマ特賣ヲ願出タル場合ニ  
於テハ委任狀若クハ證明書ヲ添付セシムル義ト御承知相成度郡長命ニ依リ此段及通牒候也

○森林事務處分上經伺ヲ要スル場合  
○明治二十五年十二月九日丙第一八六〇號各月長 役場宛



今般別紙寫之通訓令相成候ニ付此段及通牒候也

追テ別紙訓令ニ該當スル願書ヲ受理シタルキハ森林庶務手續第二條ノ實地踏檢ヲ了セス直チニ御送付ノ事ト御承知相成度爲念此段申添候也

(別紙)

訓第百九拾號(各郡役所宛)

森林收入ニ屬スル左ノ數項ニ該ルモノハ一廉金五拾圓未滿ト雖モ經伺ノ上處分スヘシ

明治二十五年十二月七日

北海道廳長官 北垣國道

一 林產物及土石一箇年以上ノ年期拂下願

二 樹林地一箇年以上ノ年期貸下願

四 禁伐林枯損木下草等拂下願

(備考)明治二十六年十二月二十五日訓第三百五十八號ニヨリ第三、第五、第六、第七、ノ各項ヲ删除セラル

◎林產物拂下ニ附帶スル官林地貸付料其他價格

○明治二十五年十二月二十七日丙第一九五〇號各戸長 役場宛

林產物拂下ニ附帶スル官林地貸付料金及副產物價格左記ノ通りニ有之候條此段及御通知候也

一 官林地貸付料金ハ札幌郡ニ於テハ壹反歩一ケ月金參錢其他ノ各部ハ金壹錢

一地竹ハ一束金一錢笹下草ハ一束金壹厘桑葉ハ一貫目金貳厘柴蔓ハ一束金貳錢山菜苜蓿ノ類ハ一束金壹錢葡萄コノワハ一貫目金五厘栗實ハ一石金壹圓五十錢軟石ハ一切金壹厘硬石ハ一切金參厘束

三 薪炭材棚數算出法ハ尺貳本ヲ以テ一棚トス

一 薪炭材棚數算出法ハ尺貳本ヲ以テ一棚トス

一 薪炭材棚數算出法ハ尺貳本ヲ以テ一棚トス  
薪炭樹皮ハ副產物ノ處分ヲナスハ當然ノ事ニ候得共剝皮ノ結果立木ヲ枯死セシムル爲メ是迄ノ價例ニヨレハ建網壹統ニ付貳寸以上四寸未滿ノ立木貳百五十本ヲ標準トシ實地檢査及伐了檢査ヲナサスシテ拂下來候ニ付右ニ據リ御取扱相成度候

◎特賣定價表外ノ木種價格標準

○明治二十六年四月二十日丙第九六六號各戸長 宛

官林特賣定價表ニ記載セル木種ノ内槐、琪楠樹、及枯損木仆倒木等拂下ノ義ハ從來一定ノ標準無之爲ノ拂下價額區々ニ涉リ同一ノ木種ニシテ甲乙兩者間ニ於テ樹少ナラサル差異ヲ生シ候向モ有之ニ付今般左記之通決定相成候條此段及御通牒候也

一 槐尺各代價ヲ金五拾四錢トス

例目通直徑四寸以上六寸未滿ノ槐ヲ拂下ケント欲セハ尺各、一一九、ニ五拾四錢ヲ乘シ得ク

ル數ヲ一本ノ價額トス

一 琪楠樹ハ尺各代價ヲ金七拾貳錢トス

例全上尺各標準ハ槐ノ部ニ依ル

一 枯損立木ハ特賣定價表ニ定ムル生立木價額ノ十分ノ七トス

一 仆倒木ハ特賣定價表ニ定ムル生立木價額ノ十分ノ五トス

但風雪等ノ爲メ仆倒セル生立木ハ特賣定價表ニ依ル

◎森林ニ關スル指令用紙、鑑札受拂報告

○明治二十六年五月十七日丙第一一四一號各戸、山鼻江前札 長宛 備テ除ク



森林事務ニ要スル指令用紙及入林鑑札報告ノ義ニ付テハ客歲十二月丙第一八二五號ヲ以テ御通牒ニ及置候處往々遺拂ノ區分不明瞭ノ向モ有之差閤候條自今別紙ノ様式ニ據リ翌月五日限り御報告相成度此段更ニ及御通牒候也

(別紙) 明治 年 月 日 指令用紙遺拂報告

指 令 用 紙	入 林 鑑 札
前月ヨリ越高	
本月受高	
計	
使用 高	何枚書損 何枚延期指令用
残 高	

右及報告候也

年 月 日

郡 長 宛

戸 長 氏 名

(備考) 書損若シハ延期願等ニ使用セシ指令用紙ハ使用高欄内ニ記入ヲ要ス

◎官林被害ノ情况報告

○明治二十六年六月九日無號各戸長宛

官林被害ノ節ハ森林庶務手續第十條但書ニ據リ其時々長官へ可届出規定ニ付右被害アリタル場合ニハ即時届出ノ上尙被害之情况別紙書式ニヨリ五日以内ニ御報告可有之豫メ此段及通牒候也

(別紙) 山火(若クハ)報告

區 郡 名	町 村 名	官 林 名	火災(或ハ何々)ニ罹リタル 凡反別樹種一凡本數	火 災 ノ 原 因
計			針葉樹 闊葉樹	

備考ニハ左ノ事項ヲ掲記スヘシ

一被害ノ樹木ハ蘗生ノ見込ナキヤ否ヤ

一消防ノ景況

◎森林ニ係ル犯罪告發後報告

○明治二十六年六月十日訓第一九號各戸長宛

森林ニ關シ官吏其職ヲ行フニ因リ犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シ刑事訴訟法第五十二條ノ規定ニ據リ檢事へ告發シタルトキハ該告發書ノ副本及被害ノ種類員數等ヲ詳記シ直ニ本郡長へ報告スヘシ

◎森林事務取扱上注意方

○明治二十六年十一月十三日丙第二二〇一號各戸長宛



森林事務ニ關シ左記ノ件々豫テ御合之上御扱相成度

一 林産物拂下豫算指定外ニ於テ拂下出願者アルモ難被開屆等ニ候處往々指定外御處分ノ向モ有之哉ニ被認候爾後御注意相成度

一 一寸燧用材トシテ白楊樹拂下出願者アル場合ハ直接製造主ニアラサレハ許可不相成候出願ノ向ハ充分御調査相成度

一 營工材拂下ノ義ハ自用者ニ限り特別處分可相成筋ニ候處往々木材營業者コシテ名ヲ自用ニ假リ多量ノ用材ヲ拂下出願ノ向有之哉ニ聞及候右等不正ノ者有之候節ハ御調査ノ上却下相成度候

一 林産物拂下ニ付帶スル官林地貸下(炭竈地土石置ノ類)料金ノ義ハ月割ヲ以テ徵収ノ基礎ニ相定居候得共貸付期限ハ會計年度ニ依リ其區分ヲ立ル儀ト御承知相成度

一 林産物拂下及林地貸下願ヲ受理シ實地踏檢ノ上差支ナキモノハ二十五年十一月道廳訓令第二百六十六號第四條ノ旨ニ依リ速ニ代金ヲ納入セシムヘキ等ニ候處踏檢後數十日ヲ經過シタル後代金納入ノ者往々有之趣右等ノ弊害有之候テハ取締上不問ニ付スヘカラサル次第ニ付今後ハ踏檢ヲ了シタル日ヨリ五日以内ニ納付スヘキコトヲ告知シ其期ニ違反スルモノハ願書却下ノコトニ決定相成候右ニ依リ御扱相成度

一 入林期限ハ官林特賣規則第十三條ニ依リ拂下許可ノ月ヨリ六ヶ月間ノ効力アルハ當然ノコトニ候得共右ハ最長期ノ場合ヲ指定シタルモノニ付入林者ノ多寡拂下樹木數量ニ應シ該期間ヲ減縮シ以テ森林保護ノ大成ヲ期スルハ尤モ必要ノ儀ニ付充分御注意相成候様致度

右命ニ依リ此段申進候也

◎官林盜伐被害報告

○明治二十六年十一月十日丙第二二四五號各月長宛

官林盜伐被害ニ關シ自今左之表式ニ據リ御取調其時々御申報相成度命ニ依リ此段申進候也

甲 號

官林木盜伐被害報告表

計	發見月日	告發月日	告發人姓名	被害地名	木種	本數	尺(數)	代金	盜伐者住所	何郡何村何番地

右報告候也

年月日

郡役所宛

戸

長

役

場

(備考凡例)

- 一 巡山ノ途中伐木現場ヲ發見シ(密告ニヨリ伐木現場ニ出張シ)盜伐物件差押ヘタリ
- 一 盜伐物件ノ内若干ハ既ニ賣却ノ旨申立(帳簿ニヨリ取調)之ニ對スル賠償金何程要求ノ手續ヲ爲セリ
- 一 盜伐ハ何月何日ヨリ若手何月何日ニ至ル

乙 號

官林盜材事件處分濟報告



被害報告 年月日 番號	被害地名	宣告月日	處 刑罰 賠償 在籍	犯 氏 名
-------------------	------	------	---------------------	-------------

右及報告候也

年月日

郡役所宛

戸長役場

(備考)

一被害報告ノ欄ニハ、被被害ヲ報告セシ年月日番號ヲ記入スルモノトス  
一處分濟ノ欄ニハ、重禁錮何年(不起訴又ハ無罪)ト記シ賠償ノ欄ニハ、其金額ヲ記載スルモノトス

◎森林事務ニシテ、經伺ヲ要スル事項中、削除ニ付心得方

○明治二十六年十二月二十七日丙第二六一〇號(各戸(札幌江別山)長宛(鼻ヲ除ク))

明治二十五年十二月訓第二百九十號森林事務ニシテ、經伺ヲ要スル事項中第三、第五、第六、第七ノ各項削除相成候條自今本文ノ願書ヲ受理シタルトキハ、意見ヲ具シ進達相成度依命此段及御通牒候也

◎樹木名稱假字使用方

○明治二十七年二月三日丙第二五五號(各戸長役場宛)

從來本道森林樹木名稱區々ニ涉リ取扱上不便ニ付今般道廳ニ於テ別冊記載ノ通名ヲ以テ稱呼ト被致候條自今右通名欄ニ記載セシ假字ヲ使用スル儀ト御承知相成度此段及御通知候也

(別冊)樹名對照表

通名	漢名	方言
トヤマツ	俗 櫻	
シコタンマツ	落葉松ノ一種	グイマツ (エトロフ方言) シコタンマツ (根室方言)
エツマツ		
アカエツマツ		シンコマツ (根室方言)
ゴエフマツ	五 松	
アラ、ギ	琪楠樹又失樹	ナンコ、イチイ
アスナロ	羅漢柏	ヒノキ アスヒ
カツラ	俗 桂	シロカツラ
ヒガツラ	排桂	アカカツラ
ホ、ソキ	浮爛羅勒俗朴	
コブシ	辛夷	ヒキザクテ



シナノキ	オホバボタイシユ	オホバシナ
オホバボタイシユ	キハダ	アチシナ
ニガキ	七葉樹	シコロ
トチノキ	黄棟樹	
ハウチハカヘデ	楸樹	オホバハナイタヤ
モミヤ		ハナイタヤ
イタヤカヘデ		イタヤ
クロビイタヤ		クロビイタヤ
ミツデカヘデ		ミツバカヘデ
イヌエンシユ	榎樹	エンシユ
ヤマザクラ	櫻桃	セウリ
ウハミツザクラ		カバザクラ
エフウハミツザクラ		

アツキナシ	カクスギ
ズミ	サシナシ
ナノカマド	
セメキ	オニセン
ヌカセン	ヌカセン
ゴマゼツ	アブラコ
ミヅキ	俗 女眞
ハシドイ	ミツノキ
ヤナダモ	ドスナラ
アサダモ	ヤナダモ
ニレ	アカダモ
オヒヨウ	オヒヨウ
ヤマザクラ	
オニグルミ	山胡桃
	クルミ



カハシルミ	檀香	ヤシ
シラカンバ	樟木	ガンビ
サハヨカンバ		サカバ
ミヤマハンノキ		ドスガヤビ
ハンノキ	赤楊	ヤチバ
ヤマハンノキ		ハンノキ
サハシデ		クナグロ
フサダ		アサダ
カシハ	榊	
オホナラ	俗櫓	
ミヅナラ		
コナラ	抱	
シラ	栗	

ブナ	山毛櫨	ブナノキ
ドロヤナギ	白楊	ドロ カドロ
ハコヤナギ		ヨソフリ ヤマナラン ドロ

◎産物拂下指令用紙書損々傷等ノ場合

○明治二十七年二月二十四日丙第四三九號各月(江別山鼻ヲ除ク)長冠(札幌廣島ヲ除ク)  
 林産物拂下指令用紙書損々傷等之爲メ使用シ難キ分ハ自今右用紙遺拂御報告之際該書損々傷用紙御添付相成度此段申進候也

◎白楊樹拂下制限

○明治二十七年二月二十八日訓第六號各戸長冠  
 自今白楊樹ハ當廳管内ニ於テ器械ヲ所有シ自カラ鋸寸軸ヲ製造スルモノニ限り拂下ヲナシ丸太造材ノ儘他へ輸出スルモノニハ拂下ヲ停止スベシ

歳入係ノ部

(森林收入ヲ包含ス)

◎收入官吏ノ取扱ニ係ル送金方

○明治二十五年十一月十一日郡長無號永山外ニケ村戸長役場  
 其役場在勤收入官吏ノ取扱ニ係ル税外諸收入徴収金ハ自今明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏規金取扱規則第十七條ニ依リ同第十六條ノ納期毎ニ監守証ヲ作り札幌本金庫へ送付スベシ

◎諸營業願處分手續



○明治二十六年六月五日第二課長丙第一二七四號各戶  
今般訓第一八號ヲ以テ地方稅ニ係ル諸營業願處分方各戶長ニ於テ取扱ノ備定メラレ候ニ付テハ其手續左之通御承知相成度候

第一項 諸營業願出ルモノアルキハ郡長ノ名ヲ以テ許可スヘシ但指令紙用ハ豫メ當所ニ請求シ其用途ニ欠乏ナキヲ注意スヘシ

第二項 前項處分濟願書及警察分署等ヨリ處分ノ通知ヲ受ケタルモノハ其月分翌月一日限り別紙書式ニ倣ヒ調製シ當課ニ報告スヘシ但新規許可シタルモノ無之キハ其旨通知スヘシ

第三項 第二項ノ處分ニ該リテハ明治二十二年大藏省訓令第六十六號第三條但書ニ據リ直ニ收入官吏ニ於テ現金領收スヘキニ付當所ヨリ納入告知書ヲ發セサルモノトス

第四項 第一項ノ指令用紙受拂表ハ適宜其枚數ニ記入シ第二項報告ト共ニ送付シ其處分濟ニ係ル願書ハ便宜一括トナシ當課ヘ回付スヘシ

右御心得相成度依命此段及御通知候也

○森林收入取扱方  
○明治二十五年十二月十日第二課長丙第一〇二二號市來知月  
本月七日丙第一〇七號ヲ以テ及御通牒候森林收入取扱方第二項ヲ左記之通り訂正相成候ニ就テハ便宜ヲ圖リ納入告知書用紙へ郡長捺印ノ儘豫メ及送置候條月未ニ至リ使用高チ第二課へ報告ノ義ト御承知相成度郡長命ヲ領シ更ニ此段及御通牒候也

一 前項處分ノ拂下金額ニ對シテハ直ニ納入告知書ヲ調製下付シ納入チシテ其金額ヲ金庫ニ納付セシメ  
檢印ハ一般稅外收入ノ例ニ據リ整理方ハ二十五年歲入科目表ニ照シテ毎月提出スル收入報告書ニ

編入スヘシ

○賦金調定取扱方  
○明治二十六年十一月九日第二課長丙第一二四二號厚田石狩濱  
貸坐敷娼妓賦金調定取扱方は迄一定不致居候所自今貴役場ニ於テ毎月調定ノ上其結果ヲ翌月三日限リ澄入別仕譯書ヲ製シ御報告有之度受命此段及御通達候也

○稅外諸收入金拂込ノ件  
○明治二十四年四月七日第三課無號厚田濱益郡各  
稅外諸收入ヲ取扱フ收入官吏ノ徵收金拂込之義ニ付別紙ノ通り訓示相成候條右ニ據リ御取扱相成度此段及御通牒候也

(別紙)  
○明治二十四年四月七日北海道廳長官訓第二七號札幌外九郡  
厚田郡厚田村及濱益郡茂生村ニ於テ國稅外諸收入ヲ取扱フ收入官吏ノ徵收金拂込ノ義ハ二十二  
年十月大藏省令第十三號第十七條ニ據リ取扱監守証ハ其所屬仕拂命令官所在地ノ金庫へ送付ス  
ヘシ

○調定元帳其他取扱方  
○明治二十六年十一月十一日第二課長丙第一二四七號各戶長役場  
本年十月五日北海道廳訓令第三百七十六號ヲ以テ改正相成候調定元帳其他様式ニ付左ノ通り通牒  
有之候條右ニ據リ御取扱相成度此段及御通牒候也

一 調定元帳様式中納入告知書發布期日又ハ納期迄領取期日以下各欄内期日トアルハ則チ發付

六十五



- シタル年月日又ハ領取シタル年月日ヲ記入スヘク義ニ有之候
- 二 納入告知書ノ金額納期日及未納欠損額明細書外一表ニ依リ調定元帳ニ記入スル期日ハ特ニ年月ノミヲ掲クル義ニ有之候
- 三 納入告知書ト調定元帳トノ調定官割印ハ<sup>戸長調定取扱</sup>ノモノヲ指ス、納入告知書番號ノ上欄外ニ之レヲ押印スヘキモノト御承知有之度候
- 四 調定元帳<sup>戸長取扱ニアリテハ補助簿ト云</sup>ニハ調定決議書ニ代ユルニ調定金額ノ上欄外納期日欄ニ調定取扱者ノ検印ヲ押捺スル義ト御承知有之度
- 五 調定元帳<sup>上</sup>事由ノ欄ハ調定ノ目的ヲモ記入スルヲ得ル義ト御承知有之度

◎罰金科料收入取扱方

○明治二十四年九月十七日第三課丙第一四八四號<sup>各戸長</sup> 警察分署處分ニ係ル罰金及科料收入方ハ既ニ了知相成居ル義トハ存候得共各地其取扱方ヲ異ニスル<sup>ル</sup>ハ後日証憑書類調理ニ際シ手數ヲ要スル必然ニ付自今左項ニ依リ取扱相成度

- 一 罰金及科料ノ言渡ヲ受ケ之レニ據リ料金上納セントスルモノハ必ス所轄警察分署ヨリ其收入スヘキ事項詳細報知アルヘキ等ニ付該報知書所定ノ期日ニ於テ其料金收入相成ル事
- 二 收入了ヘタル<sup>ル</sup>ハ警察分署ヨリ報知書ハ之ヲ取纏メ翌月二日限り當衙へ送致相成ル事

右申進置候也

◎森林收入取扱方

○明治二十五年十二月三日<sup>第二課長</sup>丙第一〇〇七號<sup>各戸長</sup>

今般當所告示第二號ヲ以テ森林事務取扱方達セラレ候ニ就テハ收入取扱方左之通り御承知相成度郡長命ヲ領シ此段及御通牒候也

- 一 森林原野ニ係ル拂下貸下許可シタルモノハ本願書ヲ毎十日分取纏メ五日以内ニ當所へ送付スヘシ
- 一 前項所分ノ拂下金額ニ對シテハ當所ハ別ニ納入告知書ヲ發セサルニ依リ二十二年大藏省訓令第六拾六號第三條但書ニ基キ直ニ現金ヲ領取シ其整理方及現金拂込手續ハ同號及二十二年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則ニ依リ二十五年年度歳入科目表ニ對シテ毎月ノ收入報告書ハ編入スヘシ
- 一 森林原野ニ關スル調定額ハ拂下指令面ノ金額ヲ以テ直ニ之レニ宛ツルガ故其金額ヲ各細目ニ區分シ每一ヶ月分ヲ翌月二日限り別紙書式ニ據リ報告スヘシ

◎税外諸收入金拂込方

○明治二十六年八月八日訓第二十四號<sup>旭川外三ヶ村</sup> 其役場租税外諸收入金拂込ノ儀ハ明治二十二年<sup>十</sup>大藏省令第拾三號第十七條ニ據リ監守証ヲ以テ札幌本金庫へ送付スル義ト心得ヘシ

◎酒造検査報告方

○明治二十四年十一月二日第二課長丙第一九〇六號<sup>各戸長</sup> 今般札幌外九郡役所告示第六號ヲ以テ租税<sup>土地</sup>検査ハ戸長ニ於テ之レヲ行ハシメタル、義告示相成候ニ就テハ自今夫々成規ニ據リ御取計相成度尤モ酒造検査ニ關シテハ一層注意ヲ加ヒ毎月分ノ検査済石數ハ翌月二日限り無遅滞報告相成度貴役場内ニ係ル酒造書類一括添依命此段申進候也



- シタル年月日又ハ領収シタル年月日ヲ記入スヘシ義ニ有之候
- 二 納入告知書ノ金額納期日及未納欠損額明細書外一表ニ依リ調定元帳ニ記入スル期日ハ特ニ年月ノミヲ掲クル義ニ有之候
- 三 納入告知書ト調定元帳トノ調定官割印ハ<sup>八月長調定取扱</sup>ノ<sup>ノ</sup>指ス<sup>納入告知書番號ノ上欄外ニ之レヲ押印スヘキモノト御承知有之度候</sup>
- 四 調定元帳<sup>八月長調定取扱</sup>ニハ<sup>八月長調定取扱</sup>調定決議書ニ代ユルニ調定金額ノ上欄外納期日欄ニ調定取扱者ノ檢印ヲ押捺スル義ト御承知有之度
- 五 調定元帳<sup>上</sup>事由ノ欄ハ調定ノ目的ヲモ記入スルヲ得ル義ト御承知有之度

◎罰金科料收入取扱方

○明治二十四年九月十七日第三課丙第一四八四號<sup>各月長</sup>警察分署處分ニ係ル罰金及科料收入方ハ既ニ了知相成居ル義トハ存候得共各地其取扱方ヲ異ニスル<sup>後日証憑書類調理ニ際シ手數ヲ要スル必然ニ付自今左項ニ依リ取扱相成度</sup>

- 一 罰金及科料ノ言渡ヲ受ケ之レニ據リ料金上納セントスルモノハ必ス所轄警察分署ヨリ其收入スヘキ事項詳細報知アルヘキ等ニ付該報知書所定ノ期日ニ於テ其料金收入相成ル事
- 二 收入ヲ了ヘタル<sup>ハ</sup>警察分署ヨリノ報知書ハ之ヲ取纏メ翌月二日限り當衙へ送致相成ル事

右申進置候也

◎森林收入取扱方

○明治二十五年十二月三日<sup>第二課長</sup>丙第一〇〇七號<sup>各月長</sup>

今般當所告示第二號ヲ以テ森林事務取扱方達セラレ候ニ就テハ收入取扱方左之通り御承知相成度郡長命ヲ領シ此段及御通牒候也

- 一 森林原野ニ係ル拂下貸下許可シタルモノハ本願書ヲ毎十日分取纏メ五日以内ニ當所へ送付スヘシ
- 一 前項所分ノ拂下金額ニ對シテハ當所ハ別ニ納入告知書ヲ發セサルニ依リ二十二年大藏省訓令第六拾六號第三條但書ニ基キ直ニ現金ヲ領取シ其整理方及現金拂込手續ハ同號及二十二年大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則ニ依リ二十五年年度歳入科目表ニ對シテ毎月ノ收入報告書へ編入スヘシ

一 森林原野ニ關スル調定額ハ拂下指令面ノ金額ヲ以テ直ニ之レニ宛ツルガ故其金額ヲ各細目ニ區分シ毎月一ヶ月分ヲ翌月二日限り別紙書式ニ據リ報告スヘシ

◎税外諸收入金拂込方

○明治二十六年八月八日訓第二十四號<sup>旭川外三ヶ村</sup> 其役場租稅外諸收入金拂込ノ儀ハ明治二十二年<sup>大藏省令</sup>第拾三號第十七條ニ據リ監守証ヲ以テ札帳本金庫へ送付スル義ト心得ヘシ

◎酒造検査報告方

○明治二十四年十一月二日第二課長丙第一九〇六號<sup>各月長</sup> 今般札幌外九郡役所告示第六號ヲ以テ租稅<sup>土地</sup>検査ハ<sup>長</sup>於テ之レヲ行ハシメタル、義告示相成候ニ就テハ自今夫々成規ニ據リ御取計相成度尤モ酒造検査ニ關シテハ一層注意ヲ加ヒ毎月分ノ検査済石數ハ翌月二日限り無遲滯報告相成度貴役場内ニ係ル酒造書類一括添依命此段申進候也



○民有地登記通知方ノ件

○明治二十六年三月二日第二課長丙第五二二號當別千歲親船町岩見海江  
別市來知厚田濱登戸長宛  
從來民有地所有者ノ轉換アルキハ所轄登記所ノ通知ヲ待テ同所ノ部下兩轄戸長役場へ通報スヘキ  
管ニ有之候處戸長役場内登記所設置アル向ニ至リテハ更ニ當所ヨリ該戸長役場へ通知ノ手數ヲ省  
キ彼我互ニ省察ヲ主トシ登記所ヨリ直ニ通知ヲ受ケ之ニ因リテ所管ノ臺帳ヲ訂正ノ上當所へ通知  
書回付候様其役場ヨリ豫メ所在登記所へ照會置有之度命ヲ領シ此段申進候也  
本文ニ係リ抵觸ノ通田ハ自今廢滅ノ幾ト御承知有之度候也

○地目變換ハ地主ノ自由ニ任ス

○明治二十六年三月二日第二課長丙第五二六號各戸  
長宛  
明治二十二年六月法律第十八號ノ免除租地中互ニ地目變換ノ義ハ地主ノ自由ニ任セ該年期明ニ至リ  
現地目ニ依リ處分スヘキ旨其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條右ニ御取計相成度此段豫而及通知候也

○酒造營業出願者身元擔保ノ件

○明治二十六年九月二十日第二課長丙第一七八二號札場、宇賀、豊平、江別、下手橋、石狩、當別、厚山、山手、新十  
村、除ク  
酒造營業新規出願スルモノニシテ明治二十三年九月總令第六十三號書式第四號ノ不動産價格調書  
へ列記スル土地建物ニ就テハ所轄登記所へ照會シ書質入ノ有無ヲ取調其回答書ヲ得テ該調書へ添  
付之上當廳へ御差出相成度候

出願人所有ノ不動産遺石稅四分ノ一ニ充テザルカ又ハ無財產ノモノニシテ總令第五條ニ依リ書式  
第五號乃至第七號ノ納稅保證人ヲ立ントスルモノハ保證人トナルヘキモノ、年齢及所有ノ不動産

現價格ヲ記  
入セシム  
チ掲記シ郡長へ願出認可ヲ受ケシムヘキ管ニ付該書類ハ便宜營業願書ト同一御差出相成  
度候

右ハ新規又ハ繼續出願人遠隔ノ地ニアルモノニ就テハ書類往復ノ手數ト日子ヲ省カン爲メ前項御  
取計有之度命ヲ領シ此段及御通達候也

○郡村宅地其他反別ニテ記載方ノ件

○明治二十三年八月二十二日訓示第三號各戸  
長宛  
從來郡村宅地海産干場並ニ免租地等ハ坪ヲ以テ臺帳記載致來候處右ハ自今明治十七年地租條例第  
五條ニ準シ市街宅地ヲ除ク外總テ反別ニテ記載且既ニ記載済ノ分ハ此際反別ニ改算取計フヘシ

○免稅木札製造方

○明治二十五年四月四日第二課長丙第二六二號石狩親船町厚  
田濱登戸長宛  
本月二日訓示無號ヲ以テ免稅船烙印ノ義達セラレ候管ニ就テハ其木札製造ニ係ル費用ハ別途交付  
可相成候條適宜調製置有之度尤モ書式寸法等ハ道廳訓令第十九號ニ依リ御承知ノ上本人ヨリ差出  
シタル願書ハ鑑札下付ノ年月日ヲ記シ其時々當課へ御送付相成度此段及御通牒候也

○租稅檢査監査員巡回

○明治二十五年十一月十八日丙第九五四號水山、モ川、岩見澤、市來知、月形  
濱登、各村千歲郡各村戸長宛  
租稅檢査ハ派出所直轄ト分任地方ト區々ニ涉リ平衡ヲ失シ候テハ不取締ノ懸念モ有之趣ヲ以テ其  
監査ハ租稅檢査員派出所ヨリ巡回爲致候旨其筋ヨリ移牒相成候條豫メ御承知置相成度命ニ依リ此  
段及御通牒候也

○酒造營業人保證人立方



○明治二十四年九月十一日訓示第十二號各戶  
 凡酒造營業人ニシテ酒造稅則第一條第二項ニ該當スルモノハ必ス保證物若クハ保証人ヲ以テ出願可致成規ニ候處右保證物ヲ差出義ニ就テハ營業人自身ニ於テモ手數ハ勿論時々保證物調理ノ爲メ或ハ引續營業期限ヲ經過セストモ保シ難ク勞得策ニアラサルヘクト思考候ニ付自今可成確實ナル保證人ヲ立テ出願候様精々示諭取扱可有之此旨内訓候也

○酒造検査ニ關スル諸報告

○明治二十五年十二月二十五日丙第九六八號濱島、上川、月形、三川市  
 造酒見込石高増減報告表

酒類検査済石高報告表

検査取扱物件報告表

右報告表定メラレ候ニ付爾後別紙様式ニ據リ其月分翌月五日限リ發送御報告有之度此段及御通達候也

追テ是迄報告致來リ候酒類検査済石高及臨檢度數物件數報告ハ自滅ノ義ト御承知相成度此段申添候也

◎戶籍諸願届書式目錄

- |  |                               |
|--|-------------------------------|
| (一) 願濟届  | (一九) 結婚入籍届                    |
| (二) 家名相續届 <small>遺腹ノ例</small>                            | (二〇) 縁女 <small>養子</small> 送籍届 |
| (三) 全上 <small>死亡ノ例</small>                               | (二一) 縁女 <small>養子</small> 入籍届 |
| (四) 全上 <small>未丁年ノ例</small>                              | (二二) 相續人送籍届                   |
| (五) 再相續願   | (二三) 相續人入籍届                   |
| (六) 廢戶主願   | (二四) 携帶者送籍届                   |
| (七) 廢願   | (二五) 携帶者入籍届                   |
| (八) 戶籍訂正願  | (二六) 親族送籍届                    |
| (九) 改名願  | (二七) 親族入籍届                    |
| (一〇) 後見届   | (二八) 私生子引受願                   |
| (一一) 失踪届   | (二九) 私生子引受入籍届                 |
| (一二) 失踪者復歸届  | (三〇) 私生子立嫡届                   |
| (一三) 失踪者居所分明届  | (三一) 戸内離婚届                    |
| (一四) 失踪者除籍届  | (三二) 離婚送籍届                    |
| (一五) 移轉届 <small>全町村内移轉ノ例</small>                         | (三三) 離婚一戸新立届                  |
| (一六) 戸内結婚届   | (三四) 離婚復歸入籍届                  |
| (一七) 結婚 <small>送子</small> 送入籍届 <small>管内結婚送子入籍ノ例</small> | (三五) 相續人離縁送籍届                 |
| (一八) 結婚送籍届   | (三六) 相續人離縁復歸入籍届               |
|  | (三七) 分籍届                      |



- (三八) 分家送籍届
- (三九) 分家入籍届
- (四〇) 分家復歸送籍届
- (四一) 分家復歸入籍届
- (四二) 附籍者送籍届
- (四三) 附籍者入籍届
- (四四) 附籍者別立送籍届
- (四五) 附籍者別立入籍届
- (四六) 廢家願
- (四七) 絕家所分伺
- (四八) 絕家再興送籍届
- (四九) 絕家再興入籍届
- (五〇) 轉住届(全町内)
- (五一) 轉住送籍届(轉住ノ例)
- (五二) 轉住入籍届
- (五三) 出寄留届
- (五四) 出寄留者復歸届
- (五五) 入寄留届
- (五六) 寄留替届
- (五七) 退去届
- (五八) 出生届
- (五九) 出生届洩届
- (六〇) 棄兒編籍伺
- (六一) 棄兒引受届
- (六二) 棄兒貫受自費養育願
- (六三) 棄兒引受送籍届
- (六四) 棄兒引受入籍届
- (六五) 棄兒引受替送籍届
- (六六) 棄兒引受替入籍届
- (六七) 棄兒戶立伺
- (六八) 就籍願
- (六九) 死亡届
- (七〇) 死亡承認願
- (七一) 死産届
- (七二) 戶籍謄本証明願
- (七三) 生存証明願
- (七四) 印鑑届
- (七五) 改印届
- (七六) 印鑑証明願

◎戶籍諸願届書式

(願名ノ冒頭ニ米印アルモ  
シハ郡長ハ願出ツヘキ分)

(一) 何々願届御届  
原籍身分(寄留ナレハ寄留地共)  
 何々願届御届  
 氏 名 印  
 年月日 右

(二) 宛名(以下全シ)  
 宛名(以下全シ)  
 氏 名 印  
 年月日 右

(三) 家名相續御届  
在籍地身分亡父名長男  
 家名相續御届  
 氏 名 印  
 年月日 右

(四) 家名相續御届  
在籍地身分亡名何男  
 家名相續御届  
 氏 名 印  
 年月日 右

右某何々ノ義年月日出願仕候處年月日御許可相  
 成右御指令年月日受領仕候此段御受旁御届仕候  
 也

右某亡父(名)跡相續爲致尤本人幾ハ未丁年ニ付  
 丁年迄何誰ニ於テ後見仕候間親族連署此段御届  
 仕候也

右父(名)退隠ニ付長男(名)相續致候間此段御届  
 仕候也

年月日 右  
 父氏 姓名 印

年月日 右  
 族籍 何之某印  
 親族 何之某印  
 全上 何之某印



(五)

※再相續願

右ハ年月日私退跡相續之上家計罷在候處年月日病死致目下跡相續者撰定中ニ候得共差當リ和當相續者無之ニ付再ヒ私ニ於テ相續仕度候間御許可被成下度別紙戶籍寫相添此段奉願候也

年月日

右氏名實父 氏

名印

(六)

※廢戶主願

右某何々ノ事故ニ依リ(一年以上ノ處刑ヲ受ケルカ又ハ失踪逃亡後十ヶ月經過シタ場合等)一家經營難相成候ニ付本人廢戶主ノ上何處身分氏名ニ男(女)ヲ跡相續者ニ貫受一家維持ノ方法相立度候間御詮議之上御許可被成下度別紙戶籍寫相添親族連署此段奉願候也

年月日

右氏名實母 氏  
全親族 氏  
全上 氏

名印  
名印  
名印

(七)

※廢嫡願

右ハ何年月以來何々症ニ罹リ將來自分跡相續ノ見込無之ニ付本人廢嫡之上養子(名)ヲ以テ自分嗣子ト決定仕度候間御詮議之上御許可被成下度別紙醫師診斷書及戶籍寫相添此段奉願候也

年月日

右戶主 氏  
右長男 氏  
右養子 氏

名印  
名印  
名印

(八)

※戶籍訂正願

右某年齡ハ何年月日生ニ候處何々ノ事故ニ依リ今回不圖モ戶籍上前記之通りナルヲ受リ候ニ就テハ御詮議ノ上右訂正之養御許可被成下度別紙証憑書類及戶籍寫相添此段奉願候也

年月日

右戶主 氏

名印

(九)

※改名願

右ハ全郡村(字何々)ニ同姓同名ノ者有之郵書通信等ニ際シ行違之次第モ有之迷惑不勘候ニ付自今右名ヲ何々ト改名仕度候間御詮議之上御許可被成下度別紙戶籍寫相添此段奉願候也

年月日

右 氏

名印

(一〇)

後見御届

右某幼年ニ付丁年迄何誰ニ於テ後見仕候間親族連署此段御届仕候也

年月日

在籍地身分 後見人 氏

名印

(一一)

失踪御届

右某本月何日家出ノ儘所在不明ニ付此段御届仕候也

年月日

右戶主 氏

名印

(一二)

失踪者復歸御届

右某年月日以降失踪ノ處年月日復歸致候ニ付此段御届仕候也

年月日

右戶主 氏

名印



(一三)

失踪者居所分明御届

在籍地身分氏名弟

名

生年月日

右某失踪之處月日何處氏名方ニ現在ニ付此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(一四)

戸長〇

筆生誰某調〇

(届替ニ代用) 失踪者除籍之義伺

在籍地身分

氏

名

年月日失踪

生年月日

右名單身戸主ニシテ頭書之通失踪之處年齢滿八十歳以上ニ達シタルヲ以テ制規ニ從ヒ除籍取計可然哉

年月日

(一五)

移轉御届 (全町村内移轉ノ例)

在籍地身分

氏

名

右ハ全町(村)(字何々)番地ニ移轉ニ付此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印

(一六)

戸内結婚御届

在籍地身分氏名何男

名

右某今回姪名ト結婚致候ニ付此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(一七)

結婚(養子)送入籍御届

(管内結婚送  
入籍ノ例)

郡町村番地身分(氏名養子  
何女名婿(氏名養子))

名

右ハ全町(村)番地身分氏名何男ヲ貰受候ニ付御改籍相成度此段御届仕候也

右

年月日(遺方戸主)氏

名印

(貰方戸主)氏

名印

(一八)

結婚送籍御届

在籍地身分氏名何女

名

右某何縣郡町村番地身分氏名妻ニ遺候間送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(一九)

結婚入籍御届

在籍地身分氏名妻

名

右ハ何縣郡町村番地身分氏名何女ヲ娶リ候ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(二〇)

縁女(養子)(養女)送籍御届

在籍地身分氏名何女(男)

名

右某何縣郡町村番地身分氏名(縁女)(養子)(養女)ニ遺候間送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印



(二二)

縁女(養子)(養女)入籍御届  
在籍地身分氏名縁女(養子)(女) 名

右ハ何縣郡町村番地身分氏名何女(男)ヲ貰受候ニ付入籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二三)

相續人送籍御届

在籍地身分氏名何男 名

右某何縣郡町村番地士族亡氏名跡相續人トシテ遺候間送籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二四)

相續人入籍御届

在籍地身分亡氏名相續人 名 氏

右ハ何縣郡町村番地身分氏名何男ニ於テ相續致タル義ニ付入籍相成度此段御届仕候也

年月日 右 氏 名 印

(親族二名以上連署之事)

(二五)

携帶者送籍御届

原籍身分氏名亡養兄名何男 名 甥

右某母某ガ何縣郡町村番地身分氏名妻ニ携帶縁組仕候間送籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二六)

携帶者入籍御届

原籍身分氏名妻名携帶子 名

右ハ何縣郡町村番地身分氏名甥亡養兄名何男ノ處右名母名カ右名妻ニ入籍ニ際シ携帶ニ付入籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二七)

親族送籍御届

原籍身分氏名叔父 名

右某何縣郡町村番地身分氏名實父ノ處孝養之都合ニ依リ全人ニ於テ引取ノ儀熟議仕候間送籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二八)

親族入籍御届

原籍身分氏名實父 名

右ハ何縣郡町村番地身分氏名叔父ノ處孝養ノ都合ニ依リ熟議之上引取候間入籍相成度此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(二九)

私生子引受ノ義ニ付願

原籍身分氏名甥妹名私生男(女) 名

右ハ何郡町村番地身分氏甥カ兒子ニ相違無之候間御免許之上全人庶子ニ御送籍被成下度此段奉願候也

年月日(引渡方ノ戸主)氏 名 印  
右 (私生子ノ父)氏 名 印  
(私生子生母)氏 名 印



(二九) 私生子引受ニ付入籍御届

原籍身分氏名庶子

名

右ハ何郡町村番地身分氏名甥妹名私生子ヲ引受候ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三〇) 私生子立嫡御届

在籍地身分氏名子

名

右某生母某本日父某ト結婚ニ付嫡出ニ御引直相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三一) 戸内離婚御届

在籍地身分氏名何男

名

右某妻姪某ト離婚致候ニ付此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三二) 離婚送籍御届

原籍身分氏名妻

名

右某何縣郡町村番地身分氏名何女ニ離婚復歸ニ付送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三三) 離婚之處一戸新立御届

何處々々氏名妻

名

右ハ今回離婚之處實家斷絶ニ付何處々々番地一戸新立仕候間御編籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印

(三五) 相續人離縁送籍御届

原籍身分氏名

名

右某何郡町村番地身分氏名何男、離縁復歸ニ付送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三四) 離婚復歸ニ付入籍御届

原籍身分氏名何女

名

右何郡町村番地身分氏名妻ノ處離婚復歸ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三六) 相續人離縁復歸ニ付入籍御届

原籍身分氏名何男

名

右ハ何郡町村番地身分氏名ヲ相續人ノ處離縁復歸ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印



(三七)

分籍御届

在籍地主族氏名弟

右ハ月日何々之科ニ依リ何々(重罪ノコト)ノ處分ヲ受候ニ付何町村番地へ分籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

宛

(管轄裁判所ヨリ既決罪状送シタル御届出サシムルモノトス)

(三八)

分家送籍御届

原籍身分氏名何男

妻 弟 甥 名 名 名

右何郡何町村番地へ分家ニ付送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(三九)

分家入籍御届

入籍地平民

氏 妻 長男 名 名 名

右某何郡町村番地主族氏名何男ヨリ妻子携帶分家ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印

(四〇)

分家復歸ニ付送籍御届

在籍地身分

氏 妻 長男 名 名 名

右某何郡町村番地身分氏名弟ニ妻子携帶復歸致候間送籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印

(四一)

分家復歸ニ付入籍御届

在籍地身分氏名弟

弟 甥 妻 名 名 名

右ハ何郡町村番地身分氏名ヲ妻子携帶復歸致候ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(四二)

附籍者送籍御届

在籍地身分

氏 妻 長男 名 名 名

右全戸何名何郡町村番地身分氏名ニ附籍致候間送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏

名印

(四三)

附籍者入籍御届

在籍地身分氏名附籍身分

氏 妻 長男 名 名 名

右ハ何郡町村番地ヨリ附籍ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印

(四四)

附籍者別立ニ付送籍御届

在籍地身分氏名附籍身分

氏 妻 長男 名 名 名

右ハ何郡町村番地へ別立致候ニ付送籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏

名印



(四五)

附籍者別立ニ付入籍御届

入籍地身分

氏名

妻名

長男名

右ハ何郡町村番地身分氏名附籍ノ處別立ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

氏名印

(四六) \*廢家願

在籍地身分

氏名

生年月日

右ハ今回家政上ノ都合ニ依リ廢家ノ上何處々々氏名養子ニ縁祖ノ義整約仕候間御許可被成下度別紙戸籍寫相添此段奉願候也

右

年月日

氏名印

(實方)關係人氏名印

(四七)

筆生氏名調〇

戸長〇

絶家處分ノ義ニ付伺

在籍地身分

氏名

右ハ單身戸主ニ有之候處年月日死亡后滿六ヶ月内ニ跡相續者届出サルニ付制規之通絶家處分ニ付シ可然哉

年月日

(四八) 絶家再興ニ付送籍御届

在籍地身分氏名何男

名

右某何郡町村番地身分絶家何氏再興人トシテ遣候間送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏名印

(四九)

絶家再興ニ付入籍御届

入籍地平民

伊藤 丙吉

右ハ何郡町村番地士族佐藤乙吉二男丙吉ニ於テ右肩書在籍タリシ士族絶家伊藤氏ヲ再興致タル義ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右

年月日

伊藤 丙吉印

(親戚二名以上連署ノ事)

(五〇)

轉住御届 (全町村轉住ノ例)

在籍身分

氏名

妻名

長男名

右ハ今回全町(村)何番地ニ轉住ニ付此段御届仕候也

右

年月日

氏名印

(五一)

轉住送籍御届

在籍身分

氏名

妻名

長男名

長女名

右ハ何郡町村番地ニ轉住ニ付送籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏名

名

(五二)

轉住入籍御届

入籍地身分

氏名

妻名

長男名

右ハ何郡町村番地ヨリ轉住ニ付入籍相成度此段御届仕候也

右戸主

年月日

氏名

名印



(五三) 出寄留御届

在籍地身分  
氏 名  
妻 名  
右ハ月日ヨリ何府縣市郡町村番地へ寄留致候間  
家主連署此段御届仕候也

年月日 氏 名 印  
家主 氏 名 印

(五四) 出寄留者復歸御届

在籍地身分氏名何男  
右某何郡町村番地身分氏名方へ寄留ノ所月日復  
歸致候ニ付此段御届仕候也

年月日 氏 名 印  
右戸主 氏 名 印

(五五) 入寄留御届

原籍身分亡父名何男  
戸主 氏 名  
妻 生年月日  
長男 生年月日  
長女 生年月日  
右ハ何町村番地へ寄留ニ付此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印  
(借家ナレハ其家主借地  
ナレハ其地主連署)

(五六) 寄留替御届

何町村番地寄留何縣平民 戸主 何 之 某  
外 何 名  
右ハ今回都合ニ依リ何町村何番地へ寄留替仕候  
間此段御届仕候也

年月日 右 家主 何 之 某 印  
何 之 某 印

(五七) 退去御届

原籍身分氏名何男  
氏 名  
妻 名  
長男 名  
右ハ何町村番地へ寄留之處月日退去致候此段御  
届仕候也

年月日 住所 家主 氏 名 印

(五八) 出生御届

原籍身分(寄留ナレハ寄留地共)  
父 氏 名  
母 妻 名  
何男 名  
右某月日出生ニ付此段御届仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印

(五九) 出生届波ニ付御届

在籍地身分氏名何男  
年月日何處々々ニ於テ出生 名  
上 何女 名  
右某外何名ハ各頭書之通出生仕候處是迄御届方  
遲滞仕候ニ付犯則之段自首仕別紙書類之通御處  
分相成候ニ付本日ヲ以テ御加籍被成下度此段御  
届旁始末上申仕候也

年月日 右戸主 氏 名 印  
戸長〇 調〇

(六〇) 樂兒編輯ノ義伺

樂兒 氏 名  
(推測)年月(日)生  
右樂兒年月日拾ヒ揚タル旨ヲ以テ届出ニ付編輯  
方取計可然哉

年月日



(六一) 棄兒引受御届

札帳風預り棄兒  
推測年月生  
右棄兒壹ヶ年立米七斗御給與相成旨ヲ以テ私ニ於テ引受養育可致旨御達之趣敬承仕候此段御受旁御届仕候也

札帳區何處々々身分  
年月日 氏 名 印

(六三) 棄兒引受ニ付送籍御届

何處々々氏名引受  
右ハ何處々々氏名何男ナルコト發覺シ年月日何々裁判所ノ言渡ニ付全人へ引渡候間送籍相成度此段御届仕候也

年月日 氏 名 印

(六二) \* 棄兒貫受自費養育ノ義願

棄兒 氏 名  
年月日 生  
右某年月日何處々々ニ於テ拾ヒ揚ケ候處甚憫然之者ニ付自費養育ヲ以テ養育仕度候間直ニ私養子ニ御編籍之義御許可被成下度此段奉願候也

原籍寄留地身分  
年月日 氏 名 印

(六四) 棄兒引受ニ付入籍御届

在籍地身分氏名何男  
右ハ何處々々氏名引受棄兒氏名ノ處年月日何裁判所ノ言渡ニ依リ私ニ於テ引取候間入籍相成度此段御届仕候也

年月日 氏 名 印

(六五) 棄兒引受替ニ付送籍御届

在籍地身分氏名引受棄兒  
右某何郡町村番地身分氏名ニ於テ引受替之義熟議仕候間送籍相成度此段御届仕候也

年月日 氏 名 印

(六八) \* 就籍願

元何縣郡町村番地平民亡父何男  
當時何處々々寄留  
右名今回無籍之義相覺候ニ付就籍相願度要領左ニ陳供仕候

一年月日出國以來何年月ヨリ何年月迄何業ニテ何處へ何年月ヨリ何年月迄何業ニテ何處へ何年月ヨリ何年月迄何處へ何業ニテ寄留致何年月ヨリ目下現住ノ地へ何業ニテ家計能任候一私父某ハ年月日何處ニ於テ死亡致其後母名ト何々ニ候處全人モ年月日何處ニ於テ死亡致目下現存スル親族ハ妹一人ニテ全人ハ名ヲ何ト稱シ何處々々氏名妻ニ相成居候一今回何々何々ニ依リ自分無籍ナルヲ承知致候

前書之通事旨相違無之候ニ付御詮議之上前書現住ノ地へ就籍之義御許可被成下度親族連署此段奉願候也

年月日 右 族 親族 氏 名 印

(六六) 棄兒引受替ニ付入籍御届

在籍地身分氏名引受棄兒  
右ハ何郡町村番地身分氏名ヨリ引受替仕候間入籍相成度此段御届仕候也

年月日 氏 名 印

(六七) 戸長

棄兒戸立之義伺  
在籍地身分 氏 名 印

右某棄兒之處年齢滿十三年ニ達シクルヲ以テ肩書之通一戸新立セシメ可然哉  
推測年月日 名 印



(六九)

死亡御届  
原籍身分(寄留ナレハ寄留地共)  
氏名何男

右年月日(何時病死)(變死)致候ニ付(明)(明后)何日(何處墓地)へ埋葬(何々火葬場ニ於テ火葬)仕度候間認許証御下付相成度別紙醫師(死亡書)(檢案書)相添此段御届仕候也

右戸主(原籍住所身分)  
(親族) 氏 名 印

(別紙)

死亡書 明治二十年六月(令七)十號ニテ規定セラルル  
在籍地(寄留ナレハ寄留地共)  
身分氏名何男  
職業  
生 年月日 名 印

病過名  
一 死亡日 時  
一 死亡月 日 時  
一 死亡年 月 日 時  
右ハ私施治ノ患者ニ候處頭書之通死去相違無之候間此段御届仕候也  
在籍地(寄留ナレハ寄留地共)  
(何々病院)  
(醫員)(開業醫)  
年 月 日 宛 氏 名 印

(七〇)

死亡承認願  
原籍及寄留地  
氏 名

右ハ年月日死亡之處原籍へ届出ニ際シ必要ニ候間右死亡相違ナキ旨御承認被成下度此段奉願候也

族籍何々  
氏 名 印  
年 月 日

(七一)

死産御届

在籍地(寄留ナレハ寄留地共)  
身分氏名(何女)(妻)名死産  
男 (女) 胎  
妊娠何ヶ月  
右之通月日時死産致候ニ付月日時(何々墓地)へ埋葬(何々火葬場ニ於テ火葬)仕度候間認許証御下付相成度別紙(醫師)(産婆)死産書相添此段御届仕候也  
年 月 日 右戸主(原籍住所)  
(親族) 氏 名 印

(別紙)

死産書 明治二十年六月(令七)十號ニテ規定セラルル  
原籍(寄留ナレハ寄留地共)  
身分氏名(何女)(妻)  
生 年月日 名 印

一 姪娘後經過  
一 死産原因  
一 月日時(男)(女)胎死産  
右ハ私取扱ノ姪娘ニ付死胎檢案候處頭書之通死産相違無之候間此段御届致候也  
(原籍住所)(何々病院)  
(醫員)(開業醫)(産婆) 氏 名 印

(七二)

戸籍謄本御証明願

在籍地身分  
氏 名  
右ハ今回(土地貸下願)(恩給下付願)ノ件ニ付必要ニ候間自分全戸ハ別紙戸籍寫之通相違ナキ旨御証明被成下度此段奉願候也  
右戸主  
年 月 日 氏 名 印  
(戸籍謄本本人記載スベキモノトス)

(七三)

生存証明願

在籍地身分(寄留ナレハ寄留地共)  
氏 名  
右某今回恩給金受領之件ニ付必要ニ候間左ニ生存相違ナキ旨御証明被成下度此段奉願候也  
右  
年 月 日 氏 名 印



(七四) 印鑑御届

二寸  
印鑑 ○ 一 下

右印鑑之通今後私實印ニ使用仕候間此段御届仕候也

年月日 (原籍身分)(寄留ナレハ寄留地共) 氏名印

(七五) 改印御届

原籍(寄留ナレハ寄留地共) 氏名

二寸  
印鑑 ○ 一 下

右某是运用來候實印(遺失)(紛失)(盜難ニ罹リ)(欠損)(磨滅)(燒失)候ニ付右印鑑ノ通改印致候此段御届仕候也

年月日 右 氏名印

(七六) 印鑑証明願

(厚紙) 原籍(寄留ナレハ寄留地共)  
○ 印鑑 氏名 一 下  
五寸

右印鑑御証明被成下度奉願候也

年月日 (原籍(寄留ナレハ寄留地共)) 氏名印

諸報告進達期限一覽概表

種別	件名	參照	期限
告示諭示ノ全文報告方	豫算定額内ヲ以テ臨時雇及小使進退ノ事	明治廿五年四月郡衙訓第二號	
出札ノ節件名及滞在見込日數宿所並ニ歸任届方	部内及各所へ出張ノ節其件名發着月日報告方	明治廿四年十月郡衙訓第一號(第一六三號) 明治廿六年八月内第一五九一號	
町村總代人退任及當撰者報告	町村費及町村有財產取扱心得第十條履行濟報告	明治廿五年四月郡衙丙第八六三號	
刑事被告トシテ召喚拘引ノ件	陸海軍現役豫備后備下士卒兵籍異動報告	同上	
官林被害届出ノ件	森林ニ關スル告發ノ件	明治廿六年四月郡衙丙第九一〇號	
官林盜伐被害報告ノ件		明治廿六年六月郡衙訓第一九號 明治廿六年十一月郡衙丙第二一四號	
		明治廿三年九月道廳訓令第六十六號	
		明治廿六年六月郡衙丙第一二三三號	
		明治廿六年七月郡衙丙第一四〇八號	
		明治廿六年四月郡衙訓第三四號	



報	旬報及臨時報	月
西洋形難破船報告	明治廿二年道廳訓令第三十三號全廿三年七月 訓令第五十二號全二十一年二月訓令第十三號	同上
國稅滯納處分報告	明治廿三年法律第四號	同上
豫算定額内ヲ以テ筆生ヲ各所へ派遣ノ事	明治廿四年十月郡衙訓第一號丙第一六三一號	三日以内
筆生歸省養病其他私事旅行及除服報告	同上	旅行除三日以内
木杯到達報告書	明治廿六年十月郡衙丙第二〇〇五號	三日以内
傳染病患者報告	明治廿一年廳令第七十號全二十六 年廳令第十六號	初診、死亡二十四時内 全 治三日以内
中毒患者報告	明治十九年道廳已第九十五號達	全
度量衡臨檢報告	明治二十六年道廳訓令第二號	每年 三回 以上
森林處分濟願書進達ノ件	明治廿五年十二月郡衙丙第一〇〇七號	每月 十日、廿日、末日
小學校授業者及病院職員歸省其他私事旅行及除服報告	明治廿四年十月郡衙訓第一號及丙 第一六三一號	翌月五日
現金受拂報告表	明治廿六年八月郡衙訓第二五號乙 號書式	翌月一日
指令用紙及入林鑑札報告	明治廿六年五月郡衙丙第一一四一號	翌月五日
檢査物件度數報告	明治廿五年十一月郡衙丙第九六八號	全
酒造見込石高増減報告	同上	全

報	季報	半年報	年報
酒類檢査石數報告	同上	同上	同上
收入報告書(付屬書類添)	明治廿六年十一月大藏省訓令第四 十二號第十三條	同上	同上
地方稅營業者處分報告	明治二十六年六月郡衙丙第一二七 四號	同上	同上
賦金調定額報告	明治二十六年六月郡衙丙第一二四 二號	同上	同上
森林收入調定額報告	明治二十五年十二月郡衙丙第一〇 七號	同上	同上
病院季報(公立病院ニ限ル)	明治二十年 道廳已第十三號達	同上	同上
水產物漁況報告	明治二十五年 郡衙丙第一八五 八號	同上	同上
海員雇入雇止公認手數料收入明細表	明治二十一年三月道廳訓令第二十 七號	同上	同上
戶長役場及公立學校病院職員小使服務表	明治二十三年十二月郡衙訓示第七號全二十四 年四月訓第六號全二十五年二月訓第二號	同上	同上
施治患者表	明治二十六年道廳訓令第三十五號	同上	同上
移住者戶口表	明治二十五年道廳訓令第六號	同上	同上
民有牛馬増減表	明治二十年道廳訓令第二百二十五號	同上	同上
船燈信號器監査ノ件	明治二十五年道廳訓令第四十三號	同上	同上
登簿船免狀ヲ有セサル西洋形船舶及ヒ日本形船舶現數報告	明治二十六年道廳訓令第一號	同上	同上



戶數割賦課調	明治二十七年郡衙訓第四號	七月五日
文書收受(發送)年報	明治二十四年十月郡衙訓第二號	一月十日
統計材料第十一、十二、十五、三十五表	明治二十五年一月道廳訓令第三號 樣式	二月
全上 一乃至七表十四、十七、 乃至二十八表	同上	三月
町村總代人員數表	明治二十三年道廳訓令八十九號表 式第十二號	二月二十日
町村費收支豫算	明治二十六年九月郡衙訓第三四號	前年度 十月廿日
町村費收支決算並不納公費處分	同上	前年度 十月廿日
町村有金穀ノ收支豫算	同上	前年度 十月廿日
同上 決算	同上	前年度 十月廿日
町村費賦課徵收方	同上	前年度 十月廿日
町村備荒基金受拂精算表	明治廿五年道廳訓第二十四號訓第 三百一號改正書式	翌年 四月三十日
徵發物件表	明治廿三年勅令第九十六號附錄 三號雜形一、二、三	每三ヶ年 翌年二月廿日
西洋形船舶器械製造修覆場及鑄造 場鐵工表	同上附錄第四號雜形一、二、三	翌年 二月二十日
漁船表	同上附錄第五號雜形一、二	同

四

學事年報 學齡調查表其他公學 資	明治廿六年道廳訓第三百二十八號(甲) 明治廿六年道廳訓第三百二十九號(乙)	甲 翌年二月末日 乙 全五月十五日
種痘明細表	明治廿三年道廳訓令第八十九號全二十三年內 務省訓令第三十號內務報告例百第六十表	四月十日
醫事娼妓梅毒検査及中毒表	同上第六十一表	同
死亡者年齡區別表	同上第六十二表	同
戶口表	明治廿三年十月廿九日道廳訓令號外	二月廿日
本籍人族別表	同	同
本籍人生年別表	同	同
本籍人出產死亡婚姻表	同	同
就除籍送入籍及失踪表	同	同
現住人出產死亡表(人口二万五千以上 ア、町村ニ限ル)	同	同
耕作者捕魚採藻業戶口表	明治廿三年道廳訓令第八十九號別 冊表式第九號	同
本籍人口照合表	同上表式第十八號	同
農商務通信表 第二十三乃至二十五、三十、 三十一表	明治二十二年五月道廳訓令第二十 四號別冊樣式	翌年 一月
同 第七乃至十六、二十一、二十 二十七、二十八、二十九表	全上	二月

五



同	第三十二乃至四十表	同	(第一回ハ廿五年第二回ハ三十年以下之ニ做フ)	每五年目 二月
同	第一、三、四、五、六表	同上様式		其年 二月
同	第二表	同上		其年 二月
◎	牧場存廢表	明治十六年農商務省達第十號		一月三十日
◎	石炭消費高	明治二十年全省訓令第五十五號		一月
◎	郡區町村土木工費總計表	明治二十五年廳訓令第四十四號		翌年 七月三十一日
◎	船燈販賣人現在價格表	明治二十一年道廳訓令第二十一號		一月十五日
◎	陸運營業者及用具	同上		二月十五日
◎	西洋形船舶海員雇入雇止証書用紙受納明細表	同上		三月三十一日
◎	西洋形船々長運轉手機關手及海員表	明治二十二年遞信省訓令第一號		一月三十一日
◎	現金出納計算書(証憑書類添)	明治二十七年道廳訓令第百號		翌年度 四月十日

備考  
件名ノ員頭ニ○點ヲ施シタルモノハ地方廳ニ對スル郡衙ノ進達期限ヲ示シタルモノナリ故ニ戶長役場ニ於テハ必ラス該期限前迄ニ到達ノ見込ヲ以テ發送セラル、ヲ要ス凡ソ報告スヘキ事實ナキハ其旨主務課ヘ報告ヲ要ス

明治二十七年五月三十一日印刷  
全 年六月四日發行

札幌外九郡役所

第一課

北海道石狩國札幌區大通西三丁目六番地  
札幌活版印刷所

印刷者 阿部宇之八



◎	同	第三十二乃至四十表	同	(第一回ハ廿五年第二回ハ三十年以下之ニ做フ)	每五年目	二月
◎	同	第一、三、四、五、六表	同上様式		其年	二月
◎	同	第二表	同上		其年	二月
◎	牧場存廢表		明治十六年農商務省達第十號		一月三十日	月
◎	石炭消費高		明治二十年令省訓令第五十五號		一	月
◎	郡區町村土木工費總計表		明治二十五年道廳訓令第四十四號		翌年	七月三十一日
◎	船燈販賣人現在價格表		明治二十一年道廳訓令第二十一號		一月十五日	日
◎	陸運營業者及用具		同上		二月十五日	日
◎	西洋形船舶海員雇入雇止証書用紙受拂明細表		同上		三月三十一日	日
◎	西洋形船々長運轉手機關手及海員表		明治二十二年遞信省訓令第一號		一月三十一日	日
◎	現金出納計算書(証憑書類添)		明治二十七年道廳訓令第百號		翌年度	四月十日
備考	件名ノ員頭ニ◎點ヲ施シタルモノハ地方廳ニ對スル郡衙ノ進達期限ヲ示シタルモノナリ故ニ戶長役場ニ於テハ必ラス該期限前迄ニ到達ノ見込ヲ以テ發送セラル、ヲ要ス凡ソ報告スヘキ事實ナキハ其旨主務課ヘ報告ヲ要ス					

明治二十七年五月三十一日印刷  
 全 年六月四日發行

札幌外九郡役所  
 第一課

印刷者 阿部宇之八  
 北海道石狩國札幌區大通西三丁目六番地  
 札幌活版印刷所





Faint, illegible text or markings are visible in the upper right quadrant of the page. The text is too light and blurry to be transcribed accurately, appearing as a series of horizontal lines and small, indistinct characters.